

# MITSUBISHI

三菱ワイド液晶ディスプレイ

## Diamondcrysta WIDE

### RDT233WX/RDT233WX-S シリーズ (AX025)

#### 取扱説明書



**HDMI**<sup>®</sup>  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- この取扱説明書をよくお読みにになり、正しくお使いください。  
特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「セットアップガイド」と「ユーティリティディスク (CD) 」は「保証書」と共に大切に保管してください。
- 必ず転倒・落下防止処置を施してください。→ P6, P55 を参照
- この取扱説明書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

#### 製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。  
詳しくはこちらをご覧ください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage)

P2 もくじ

P3 ご使用の前に

P5 安全のために必ずお守りください

P8 使用上のお願い

P10 各部のはたらき

P14 使用の準備

P28 機能

P46 困ったとき

P53 付録

「ディスプレイ」のホームページ : [www.MitsubishiElectric.co.jp/display](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/display)

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内  
ご注意：法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。  
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の [PCリサイクルマーク申込](#) からお入りください。）

[www.pc-eco.jp](http://www.pc-eco.jp)

## ご使用の前に

ご使用の前に	3
何ができるの？	3
付属品の確認	4
本書の見かた	4

## 安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください	5
-----------------	---

## 使用上のお願い

使用上のお願い	8
ディスプレイの上手な使い方	8

## 各部のはたらき

各部のはたらき	10
本体正面	10
本体背面／側面	11
リモコン	12
リモコンの取り扱い	13

## 使用の準備

使用の準備	14
使用するための流れ	14

[準備 1] スタンドを組み立てる	15
ベーススタンドを取り付ける	15

[準備 2] 画面の高さを調節する	15
好みの画面高さでスタンドを取り付ける	15

[準備 3] ディスプレイとコンピューターを接続する	17
1 台のコンピューターを接続	17
2 台のコンピューターを接続	17
2 台～4 台のコンピューターを接続	18
コンピューターのオーディオ出力端子と接続	19

[準備 4] ディスプレイと AV 機器を接続する	19
HDMI 出力に対応した AV 機器との接続	19
コンポーネント映像出力 (D 端子) に対応した AV 機器との接続	20

[準備 5] ヘッドホンを接続する	21
-------------------	----

[準備 6] 電源コードを本機に接続する	21
----------------------	----

[準備 7] ケーブルをまとめる	22
------------------	----

[準備 8] 電源プラグのアースリード線を接続する	22
---------------------------	----

[準備 9] 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する	22
------------------------------------	----

[準備 10] 設置する	23
--------------	----

[準備 11] 画面の角度を調節する	23
--------------------	----

[準備 12] 画面調節	24
オートセットアップをする (D-SUB 入力するとき)	25

[準備 13] Windows® セットアップ情報	26
---------------------------	----

[準備 14] 省エネ設定をする	27
ECO 設定の変更	27
ECO メーターの表示	27

## 機能

OSD 画面の構成	28
-----------	----

OSD の基本操作	29
-----------	----

OSD メニュー一覧	30
------------	----

画質	31
----	----

映像モード	32,33
-------	-------

調整	34
----	----

音声	35
----	----

ECO PROF.	36,37
-----------	-------

ツール	38
-----	----

OSD / 情報	40
----------	----

OSD 機能の補足説明	41,42,43
-------------	----------

工場プリセットタイミング	44
--------------	----

その他の機能について	45
------------	----

## 困ったとき

故障かな？と思ったら	46～50
------------	-------

本機を廃棄するには	51
-----------	----

リモコンのリチウム電池を廃棄するには	51
--------------------	----

保証とアフターサービス	52
-------------	----

個人情報の取り扱い	52
-----------	----

## 付録

再梱包するとき	53
---------	----

市販のアームを取り付けるとき	54,55
----------------	-------

用語解説	56,57
------	-------

仕様	58
----	----

さくいん	59
------	----

## 何ができるの？

### 動画、映像クッキリ、色ハッキリ

#### 超解像（画像変換）技術 → P32

超解像が「ギガクリア・エンジンⅡ」となってさらに進化。超解像設定により、静止画/自然画および動画コンテンツをより解像度感を高めた画像に変換することに加え、圧縮された画像に見えるブロックノイズを低減するブロックノイズリダクション機能、肌色部分を検出し、検出部分の超解像効果を抑えることで人肌をなめらかに表現する肌色検出機能を装備しています。これらの機能の効果を解像度に応じて適用する解像度判別機能も搭載しています。超解像レベルは、0%（オフ）～100%の10%ステップの10レベルからお好みの状態になるように設定可能で、DV MODE（動画、静止画）ごとに独立して調節することができます。

#### ギガクリア・ウインドウ

下記の当社ホームページからギガクリア・ウインドウのソフトをダウンロードしてご使用のコンピューターにインストールするとコンピューター画面上の指定したエリアだけに超解像技術や高画質技術を適用することが可能になります。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/support/download/gigaclear/](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/support/download/gigaclear/)

### 高品位液晶パネル

#### IPS方式液晶パネル搭載 → P58

視野角による輝度変化、色変化が少ない高品位な画像を映し出すIPS方式液晶パネルを搭載しました。

### コンテンツに合った適切な画質を簡単に設定

#### DV MODE (Dynamic Visual MODE)機能

→ P32,41

映画、TV、写真、文書など、表示する内容に合わせた適切な画質を7つのモードからお選びいただけます。

### コンテンツに合わせて応答速度を切り替え可能

#### オーバードライブチャージャー機能 → P33

IPS方式液晶ディスプレイで3.8ms(GTG)の高応答速度を実現しました。コンテンツの見やすさに合わせて、オフ / 1（弱：[5.8ms]） / 2（強：[3.8ms]）の3段階から選べます。

### リモコンによる簡単操作

#### リモコン付属 → P12

付属のリモコンで主な機能のダイレクト操作が可能です。

### 多彩な入力端子を装備

#### <PC接続> → P17,P18

ミニD-SUB15ピンコネクタ（アナログ接続）、DVI-Dコネクタ（デジタル接続）、HDMIコネクタ（デジタル接続）およびミニジャック（音声接続）を装備しています。

#### <AV接続>

#### HDMI入力コネクタ x 2 装備 → P19

2台のAV機器を市販のHDMIケーブルで接続することができます。

#### 映像入力端子（D5端子）を装備 → P20

AV機器のD端子出力を市販のD端子ケーブルで接続すると、AVタイミングの映像信号を表示することができます。

### 精緻な階調表現力の高精度なガンマ補正

#### 10ビットガンマ機能 → P56

きめ細かく、滑らかな階調表現を実現します。

### オーバースキャン

#### オーバースキャン機能 → P38

AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。

「オーバースキャン」の設定を変更することで、画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

### 省エネで節約

#### ECO Professional (ECO PROF.) 機能 → P36

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できるほか、ECOメーターで現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示するなど、省エネに配慮した設定をすることができます。

#### パワーマネージメント機能 → P45

スリープモードおよびオフモード時の待機電力は、0.5W以下です。

### 簡単カラーマネージメント

#### EASYCOLOR!3機能




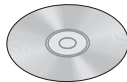


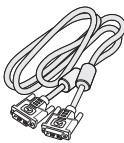



→ 付属の専用ソフト内の専用取扱説明書を参照

付属のユーティリティディスク(CD)のEASYCOLOR! 3ソフトを使って、画面表示色と付属の「ディスプレイ色調整用チャート」の写真の色イメージとを簡単に合わせるすることができます。

EASYCOLOR!3のソフトインストール方法は付属の「簡単カラーマネージメントのおすすめ」をご覧ください。

## 付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。  
 万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

セットアップガイド 	EASYCOLOR!3取扱説明書 	色調整用チャート 	ユーティリティディスク 取扱説明書 テストパターン EASYCOLOR!3ソフト 	リモコン (電池付き) 電池品名:CR2025 
電源コード AC100V専用  本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。	信号ケーブル DVI-D-DVI-D (デジタル接続用) 	ミニD-SUB15ピン ミニD-SUB15ピン (アナログ接続用) 	オーディオケーブル 	ベーススタンド 固定用つまみネジ付き 
保証書 (梱包箱に貼り付けてあります。)				

## 本書の見かた

### 本書の表記のしかた

- お願い** : 取扱い上、特に守っていただきたい内容
- お知らせ** : 取扱い上、参考にしていただきたい内容
- PXX** : 参考にしていただきたいページ
- W m** : Windows®とMacintosh両方に関わる内容
- W** : Windows®のみに関わる内容
- m** : Macintoshのみに関わる内容

### 知りたいことを探すために

- やりたいことから探す→「何ができるの？」 → P3
- 言葉と意味で探す→「用語解説」 → P56
- もくじで探す→「もくじ」 → 表紙, P2
- さくいんで探す→「さくいん」 → P59

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
 取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。



本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準 (★★☆ 2011年度版) を満たしています。  
 詳細は、Webサイト: [www.pc3r.jp](http://www.pc3r.jp) をご覧ください。



本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。  
 「J-Moss (JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質 (鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE) の含有状況についての情報を公開しています。  
 詳細は、ウェブサイト [www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment) をご覧ください。  
 形名: RDT233WX (BK)、RDT233WX-S(BK)

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。


VIEWO, Diamondcrysta, Diamondcrysta WIDE, DIATONE, ECO Professionalは、三菱電機株式会社の登録商標です。  
 Microsoft, Windows Vista, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。  
 HDMI, HDMIロゴおよび、High-Definition Multimedia Interfacelは、HDMI Licensing, LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。  
 その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# 安全のために必ずお守りください

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。  
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 <b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわない		必ず指示に従っておこなう
	絶対に分解・修理・改造はしない		必ずアースリード線を接続する
	必ず電源プラグをコンセントから抜く		高圧注意（本体背面に表示）
	絶対に水にぬらさない		絶対に触れない
	絶対に濡れた手で触れない		挟み込みに注意する

● ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

## 警告

### 万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。  
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。










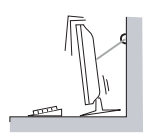
プラグを抜く

<p>故障（画面が映らないなど）や煙、変な音・においがするときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p> <p> 使用禁止</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p>  <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。</p> <p> 高圧注意  分解禁止</p>	<p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因になります。</p> <p> 修理・改造禁止</p>
<p>異物をいれない 特にお子さまにご注意</p> <p>通風口などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災・感電の原因になります。</p> <p>万一入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。</p>  <p> 禁止</p>	<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <p>水などが液晶ディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。</p>  <p> 水ぬれ禁止</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p>  <p>火災・感電の原因になります。</p> <p> 使用禁止</p>
<p>アースリード線を接続する</p> <p>アースリード線を接続しないと故障のときに感電の原因になります。アース接続は必ず電源プラグをコンセントに接続する前におこなってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。</p>  <p>アースリード線を接続する</p>	<p>アースリード線を挿入・接触しない</p>  <p> 禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因になります。</p>	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因になります。</p>  <p> 接触禁止</p> <p>ピカッ ゴロ</p>



## 警告

### 取り扱いについて

<p><b>ポリ袋で遊ばない</b> 特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>傾斜面や不安定な場所に置かない</b></p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。</p> <p>  禁止</p>
<p><b>本機にのったり、ぶら下がったりしない</b> 特にお子さまにご注意</p> <p>落下してけがの原因になります。</p> <p> 禁止</p>	<p><b>転倒・落下防止対策をおこなう</b></p> <p>転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものではありません。</p> <p> <b>設置台を補強する</b></p> <p> 転倒・落下を防止する</p>
<p><b>液晶を口にしない</b></p> <p>液晶パネルが破損し、液晶が漏れ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因になります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどで拭き取り、水洗いしてください。</p> <p> 警告</p>	<p> <b>丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ</b></p>

### 電源および電源コードについて

<p><b>電源コードを傷つけない</b></p> <p> <b>熱器具のそば</b> <b>傷つけ禁止</b></p> <p>やぶれ <b>コードをひっぱる</b> <b>下敷き</b></p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないこと。コードが破損して火災・感電の原因になります。</p>	<p><b>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</b></p> <p>感電の原因になります。</p> <p> <b>ぬれ手禁止</b></p>	<p><b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。</p> <p> <b>正しい電源電圧で使用する</b></p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100 V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V以外(最大AC240 V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。</p>
<p><b>電源プラグを奥まで差し込む</b></p> <p>しっかりと差し込まないと火災・感電の原因となることがあります。</p> <p> <b>しっかりと差し込む</b></p>	<p><b>電源プラグを持って抜く</b></p> <p>コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。</p> <p> <b>プラグを持つ</b></p>	<p><b>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</b></p> <p>火災の原因になります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。</p> <p> <b>ほこりを取る</b></p>
<p><b>お手入れの際は電源プラグを抜く</b></p> <p>感電の原因になります。 During servicing, disconnect the plug from the socket-outlet.</p> <p> <b>プラグを抜く</b></p>	<p><b>長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く</b></p> <p>火災の原因となることがあります。</p> <p> <b>プラグを抜く</b></p>	<p><b>接続線をつけたまま移動しない</b></p> <p>火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認の上、移動してください。</p> <p> <b>禁止</b></p>

## 警告

万一、電池の電解液が身体に付着したときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流す!!



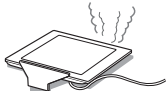














手や体に付着した電池の電解液を放置すると、身体に障害が残る危険があります。  
水道水などのきれいな水で十分に洗い流し、異常を感じたら医師の診断を受けてください。

<p><b>電池は分解・加工・改造をしない</b></p> <p>電池には電解液が入っています。電解液が飛び出して手や体に付着すると危険です。万一、付着した場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い落としてください。その後、医師の診断を受けてください。</p>	<p><b>電池を直接半田付けしない</b></p> <p>半田付けすると電池が高温になり、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>
<p><b>電池を入れるときは、プラスとマイナスの向きを正しく入れる</b></p> <p>逆に入れると電池の漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p><b>取り出した電池は幼児の手の届くところに置かない</b></p> <p>リモコンのリチウム電池は、小さなボタン電池です。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師の診断を受けてください。</p>
<p><b>正しい電池を使用する</b></p> <p>本機のリモコンに下記以外の電池を使用すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p>●使用電池：コイン型リチウム電池 品番 CR2025</p>	<p><b>電池をショートさせない</b></p> <p>電池を保管・廃棄する時にショートさせると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p> <p><b>保管時</b> 金属や他の電池と接触してショートしないように、必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。</p> <p><b>廃棄時</b> 必ず端子部をセロハンテープなどで絶縁してから廃棄してください。廃棄する時は、自治体によって処理の仕方が異なりますので、その指示に従ってください。 ( →P51 リモコンのリチウム電池を廃棄するには)</p>
<p><b>電池を充電しない</b></p> <p>電池を充電すると、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	<p><b>電池を高湿・高温の場所で使用や保管しない</b></p> <p>直射日光が当たる場所や車内など高温になる場所や湿度が高い場所での電池の使用や保管は、漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>
<p><b>電池を加熱したり火の中に入れない</b></p> <p>漏液・発熱・発火・破裂による火災やけがの原因となります。</p>	

## 注意

設置のとき、使用時は次のことをお守りください

風通しが悪かったりすると、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

<p>狭い所に置かない</p>   <p>設置禁止</p>	<p>おお向けや横倒し、さかさまにしない</p>   <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>   <p>設置禁止</p>
<p>布などで通風孔をふさがない</p>   <p>禁止</p>	<p>屋外での使用禁止</p> <p>本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用するると故障の原因となることがあります。</p>  <p>屋外での使用禁止</p>	<p>液晶パネル面を強く押さない</p> <p>傷がついたり、破損してけがの原因になります。持ち上げる際または運搬の際に、液晶パネル面に指をかけて強く押さないでください。</p>  <p>禁止</p>
<p>車載用禁止</p> <p>車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。</p>  <p>禁止</p>	<p>手の挟み込みに注意</p> <p>スタンドの角度調節時や取り付け、取り外し時に手を挟むとけがの原因になります。</p>  <p>手の挟み込みに注意</p>	
<p>液晶パネルに衝撃を加えない</p> <p>破損してけがや故障の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>設置禁止</p> <p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない</p>   <p>設置禁止</p>	

## ⚠ 注意

### 設置のとき、使用時は次のことをお守りください

風通しが悪かったりすると、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

#### キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると、内部の温度が上昇し故障の原因になることがあります。  
1年に1度はキャビネットの通気口を掃除してください。



プラグを抜く



通気口の掃除

#### 1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除



## 使用上のお願い

### 液晶ディスプレイの上手な使い方

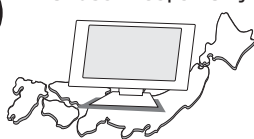
#### 日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。  
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。  
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。  
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



国内専用

For use in Japan only



#### お手入れの際は電源プラグを抜いてください。



プラグを抜く

#### 液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、固いもので押しついたりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。  
パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。

パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふきとってください。また、きれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。

溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、イソプロピルアルコール) 推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると製品を破壊する恐れがありますのでご注意ください。



#### キャビネットのお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



#### キャビネットを傷めないために

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。

(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。)

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

キャビネットが変色したり、変質するなどの原因となります。



使用禁止

#### 上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40~70cmはなれたぐらいが見やすく目の疲れが少なくなります。明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

#### 長時間同じ画面を表示しない

長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ること(残像)がありますが故障ではありません。画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなしますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。



長時間同じ画面を表示しない

「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることをおすすめします。

#### 液晶ディスプレイを廃棄する場合

本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。

( →P51 本機を廃棄するには)



### 電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器に影響のないところまで本機から離してください。

### 搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

### 保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時には、水／ゴミ／ホコリや衝撃の保護のために、ご購入時の包装材（箱／袋／緩衝材）を使用されることをお奨めします。

- お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。これは故障ではありません。本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

#### お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル（pixel）」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル（subpixel）」となります。つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷つけないでください。硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

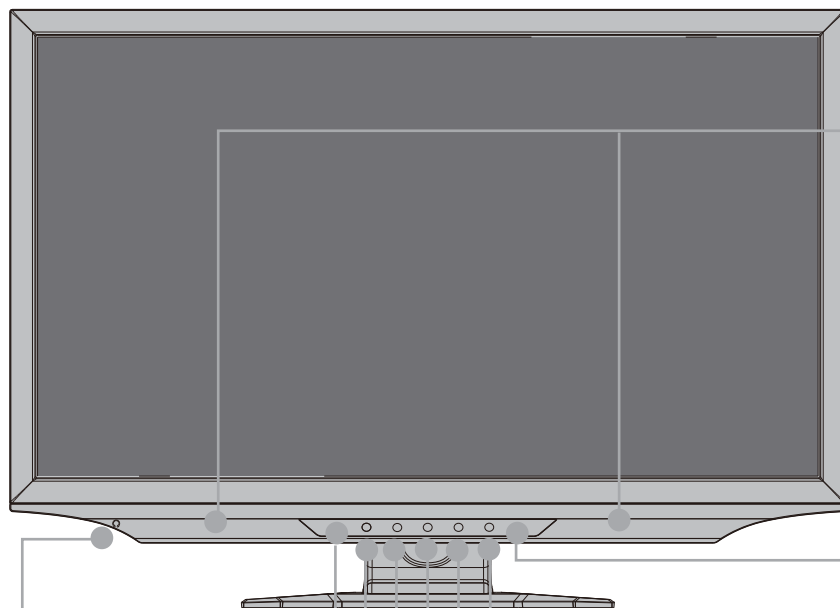
付録

解用説語

いさく

# 各部のはたらき

## 本体正面



スピーカー

### 電源ランプ

電源を入れたとき電源ランプは青色に点灯します。  
パワーマネジメント機能 → P45 が作動中は1秒間隔で点滅します。  
消画モード機能 → P36 が動作中は2秒点灯1秒消灯の間隔で点滅します。  
電源ランプは、OSDのツール(LEDブライツネス調節機能)を使って → P39 明るさを調節できます。

### 電源スイッチ

電源をオン/オフします。

#### お願い

電源を短時間のうちにひんぱんにオン/オフしないでください。  
故障の原因になることがあります。

#### お知らせ

付属のリモコンでもオン/オフできます。

ヘッドホン端子  
ヘッドホンを接続して  
使用できます。

リモコン受光部

**MENU/▽ボタン**  
OSD画面が表示されていないとき  
OSD画面を表示します。  
OSD画面が表示されているとき  
縦方向の副項目メニューを選択します。

**◀ボタン**  
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）  
設定したホットキー機能が動作します。  
工場出荷時設定：ブライツネス  
OSD画面が表示されているとき  
左方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

**▶ボタン**  
OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）  
設定したホットキー機能が動作します。  
工場出荷時設定：音量  
OSD画面が表示されているとき  
右方向への主項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

**INPUT/EXITボタン**  
OSD画面が表示されていないとき

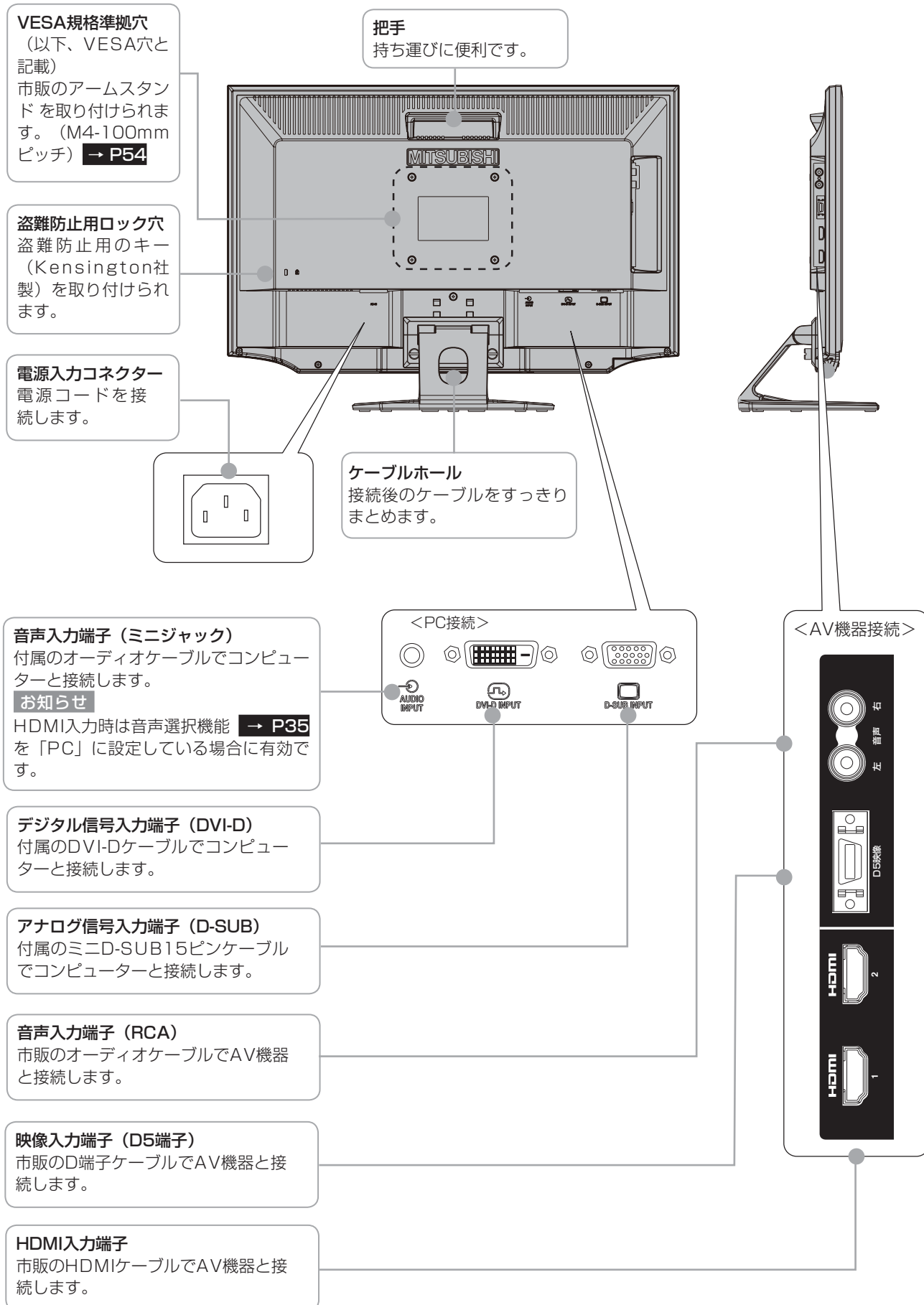
▶ D-SUB → DVI-D  
▶ HDMI1 → HDMI2  
▶ D端子

の順で入力切り替えをおこないません。  
OSD画面が表示されているとき  
選択しているOSD項目メニューから抜け出る時に押します。  
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

### お知らせ

● 各ボタンによる詳しいOSDの操作については「OSDの基本操作」 → P29 をごらんください。

本体背面/側面



もくじ

ご使用の前に

安全のために...

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

## リモコン

### 電源ボタン

電源をオン／オフします。

#### お願い

電源を短時間のうちにひんぱんにオン／オフしないでください。  
故障の原因となることがあります。

### DV MODE切替ボタン → P32,P41

静止画 動画

DV MODEの静止画モード／動画モードを切替えます。

静止画：「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」  
動画：「TV」「シネマ」「ネット」

### 映像入力切替ボタン → P38

D-SUB DVI-D HDMI1 HDMI2  
D端子

D-SUB、DVI-D、HDMI1、HDMI2、D端子  
それぞれの映像入力をダイレクトに切り替えます。

### 消音ボタン → P35

音声を消します。  
もう一度押すか音量調節ボタンを押すと、音声が出るようになります。  
電源オフでも解除されます。

### ブライトネス調節ボタン → P31

－ ＋

画面の明るさを調節します。  
＋：明るくなります。  
－：暗くなります。

### 画面サイズ切替ボタン → P38,P41

画面サイズを切り替えます。  
「フル」「アスペクト」「自動」

### 超解像設定ボタン → P32

－ ＋

超解像レベルを調節します。  
＋：強くなります。  
－：弱くなります。

### 消画ボタン → P36

映像が消えて音声のみ聞こえます。  
もう一度押すか映像入力ボタンで入力信号を切り替えると解除されます。  
電源オフでも解除されます。

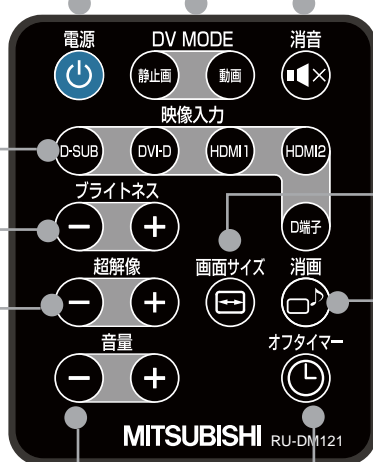
### 音量調節ボタン → P35

－ ＋

音量を調節します。  
＋：大きくなります。  
－：小さくなります。

### オフタイマーボタン → P36

オフタイマーの時間を設定します。  
「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間が経過すると自動的に電源オフします。





## リモコンの取り扱い

### 基本的な使い方

リモコンはディスプレイ本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

- リモコン使用上の注意
  - ・ 本機専用のリモコンです。
  - ・ リモコンの動作範囲は真正面からの直線距離で約3mですが、操作する角度によっては反応が遅かったり、動作しないこともあります。この場合は、画面に近づくか、より真正面に近い角度で操作してください。
  - ・ 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。



3m以内  
リモコンの受光部に正しく向けてください。  
使用範囲は角度により異なります。

- リモコン取り扱い上の注意
  - ・ 落としたり衝撃を与えない。
  - ・ 水をかけたり、濡れたものの上に置かない。
  - ・ ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。

落としたり衝撃を与えない。



水をかけたり、濡れたものの上に置かない。



ベンジン、シンナーなど揮発性の液体でふかない。



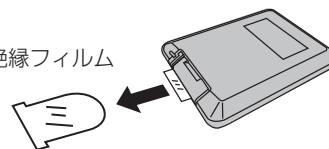
### ご使用前に

透明の絶縁フィルムを引き抜いて、使用可能な状態にしてください

### お知らせ

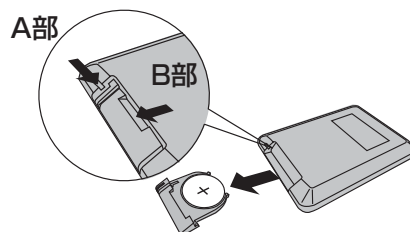
- 付属の電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

絶縁フィルム

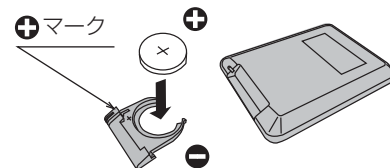


### 電池の交換方法

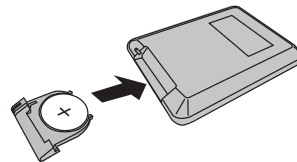
- 1 A部を内側へ押してロックを解除しながら、B部を矢印の方向に引き電池ケースを取り出します。  
電池ケースを取り出したら、古い電池を取り外してください。



- 2 使用する電池はコイン型リチウム電池：品番CR2025です。それ以外の電池は使用しないでください。  
交換する時は、必ず電池ケースの⊕ マークと電池の⊕ マークを合わせて入れ替えてください



- 3 新しい電池と交換した電池ケースを元に戻してください。



### ⚠ 警告

使用している電池は、リチウム・有機触媒などの可燃物質を内蔵しており、使い方を謝ると電池の漏液・発熱・破裂による火災やけがや機器の故障の原因となります。

「安全のために必ずお守りください」 → P7 をご覧になり、取り扱いには十分に注意ください。

### ⚠ 注意

- ・ 電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・ 交換電池は品番を確認して、同じものを使用してください。
- ・ 電池は充電用ではありませんので充電しないでください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

# 使用の準備

## 使用するための流れ



これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

## [準備1] スタンドを組み立てる

### ベーススタンドを取り付ける

#### お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

#### 語句説明

- スタンドとは、付属のベーススタンドとヒンジカバー付きのネックを組み立てた状態を示します。

#### 1 本機を下向きに置いてください

#### 2 ネックのツメ①②とベーススタンドの穴①②を合わせてください

#### 3 ベーススタンドに付属しているネジ③を締めてください

#### ⚠ 警告

- ネジは確実に締めてください。緩んでいると本機が転倒し、けがや破損および故障の原因になります。

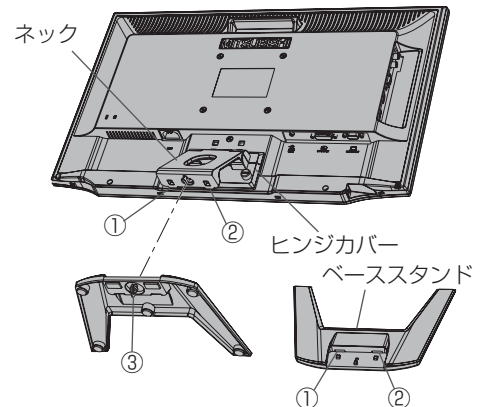
#### 4 スタンド組み立て後に本機を机上に立てる際、ネジ③のタブが倒されていることを確認してください

#### ⚠ 注意

- ネジのタブが立ったままだと机を傷つけたりタブが破損することがあります。

#### お知らせ

- ベーススタンドを外す時は、上記と逆の手順で外してください。



【ベーススタンドの取り付け】

## [準備2] 画面の高さを調節する

[必要に応じて]

### 好みの画面高さにスタンドを取り付ける

お好みに合わせて本機の画面の高さを調節してください。調節は右図の3段階が可能で、出荷時の設定は [3] です。スタンドの ④ ⑤ のツメとディスプレイ部の高さ調節穴①②③を使用して、以下の手順でおこなってください。

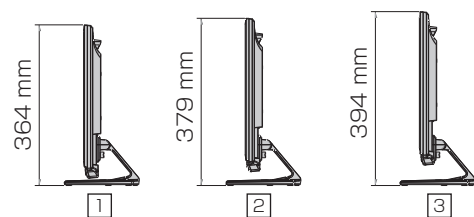
#### ⚠ 警告

- スタンド使用状態で、スタンドの固定ネジを緩めたり外したりしないでください。ディスプレイ部が脱落してけがおよび破損や故障の原因になります。

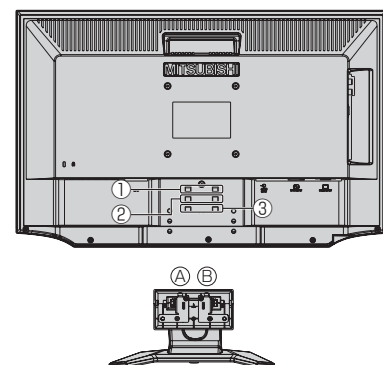
#### お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

#### 1 本機を下向きに置いてください



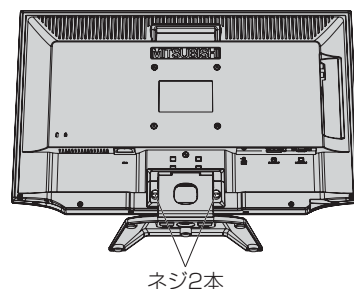
ディスプレイ部



## 2 右図のネジ2本を外してください

### お知らせ

- ネジがきつくしまっている場合は、マイナスドライバーまたはコインなどを使って外してください。



## 3 スタンドを矢印方向にスライドして上に持上げて取り外してください

## 4 上記3項と逆の要領で、お好みの高さとなる高さ調節穴にスタンドのツメを差し込みスライドさせます

### お知らせ

- スタンドを取り付ける時に、バックカバー上の目印とヒンジカバー上端を合わせるとツメが差し込みやすくなります。

### ⚠ 注意

- バックカバーの傷付き防止のため、ツメが穴に合うまで、できるだけツメをバックカバーに接触させないでください。

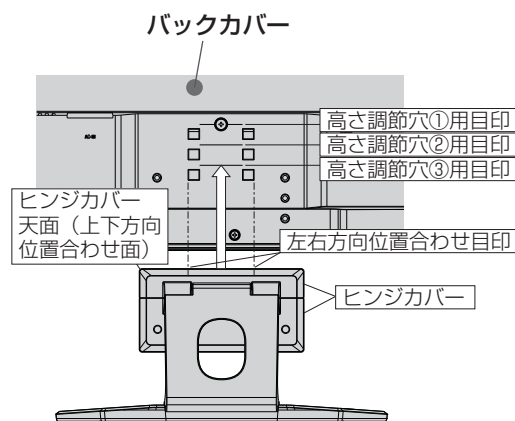
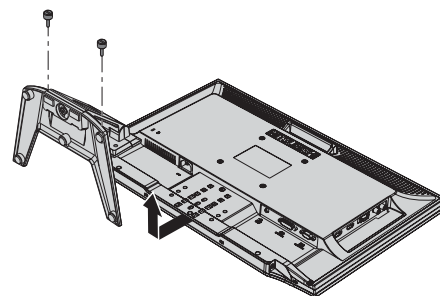
## 5 上記2項で取り外したネジを元のようにヒンジカバーの穴2ヶ所を通してスタンドを本体に固定します

### ⚠ 注意

- スタンドを取り付ける場合は、必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。  
仕様の異なるネジを使用すると、本機が故障する原因になる恐れがあります。

### ⚠ 警告

- ネジは確実に締めてください。  
緩んでいると本機が転倒し、けがおよび破損や故障の原因になります。





## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する

本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

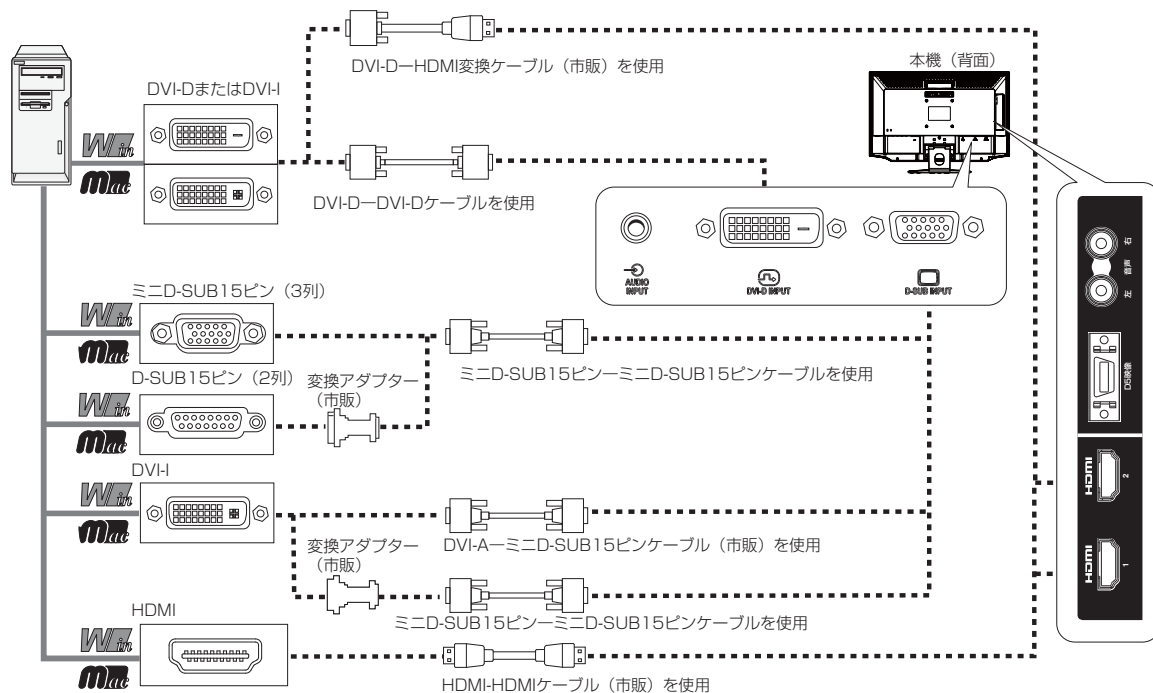
### お願い

- 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

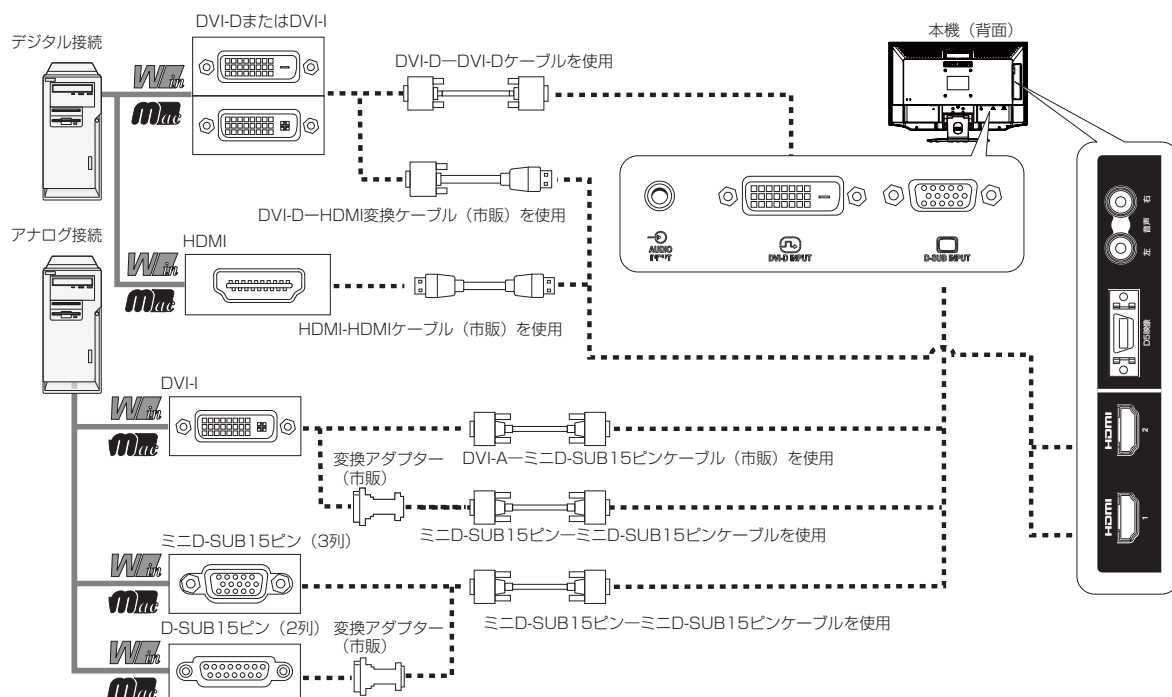
### お知らせ

- 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。  
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

### 1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）



### 2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）



もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部分の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説明

いさく

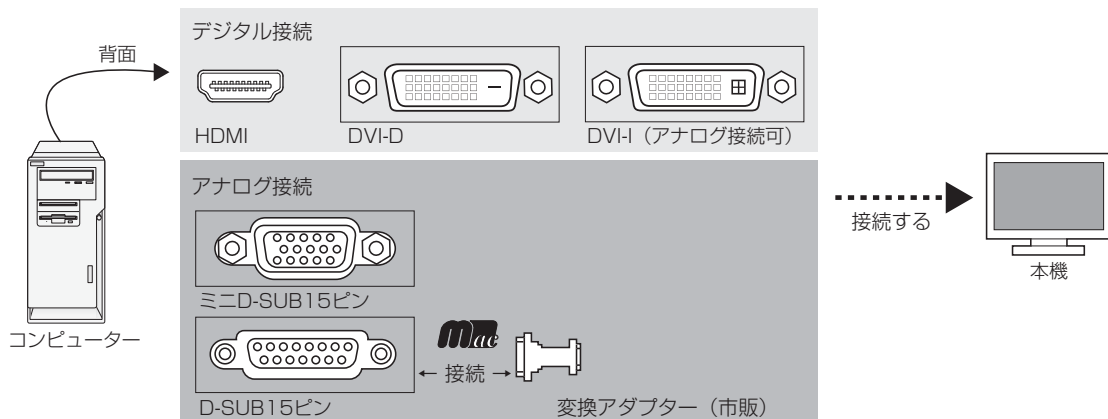
## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する（つづき）

### 3台～4台のコンピューターを接続（デジタル2～3系統／アナログ1系統同時接続）


前ページの接続図において、2台～3台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。  
さらにもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台～4台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

#### 接続方法について

本機の信号入力コネクタは、アナログ信号（ミニD-SUB15ピン）とデジタル信号（DVI-D、HDMI）に対応しています。  
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。  
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクタに接続してください。  
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。



接続コネクタと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I （アナログ接続／ デジタル接続）	DVI-A－ミニD-SUB15ピンケーブル （市販）で接続（アナログ接続） または、ミニD-SUB15ピン－ミニ D-SUB15ピンケーブルで接続 （市販の変換アダプターが必要）	DVI-D－DVI-Dケーブルで 接続	DVI-D－HDMI変換ケーブル （市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D－DVI-Dケーブルで 接続	DVI-D－HDMI変換ケーブル （市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D－HDMI変換ケーブル （市販）で接続	HDMI－HDMIケーブル （市販）で接続
ミニD-SUB15ピン （アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB 15ピンケーブルで接続	接続できません	接続できません
D-SUB15ピン （アナログ接続）（2列） 	ミニD-SUB15ピン－ミニD-SUB 15ピンケーブルで接続 （市販の変換アダプターが必要）	接続できません	接続できません

DVI-I：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能

DVI-D：デジタル入力のみに対応しているDVI端子

DVI-A：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

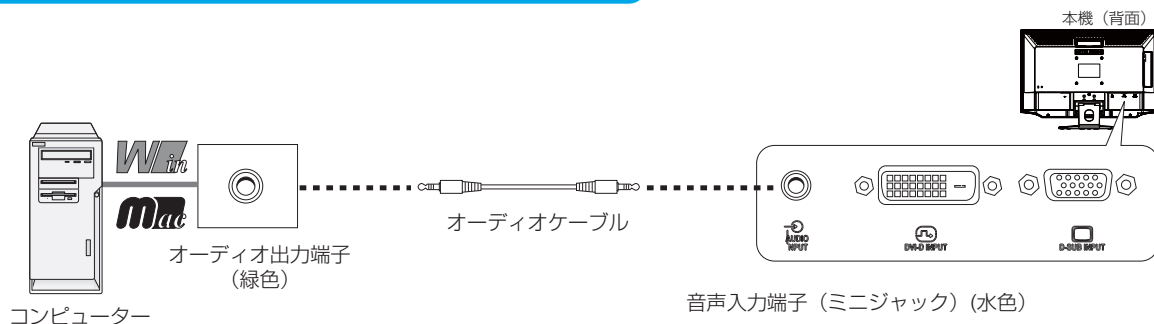
※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクタが異なります。

※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。

※ 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI®ケーブルをご使用ください。

## [準備3] ディスプレイとコンピューターを接続する (つづき)

### コンピューターのオーディオ出力端子と接続



#### お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせてご参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものご使用ください。  
抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

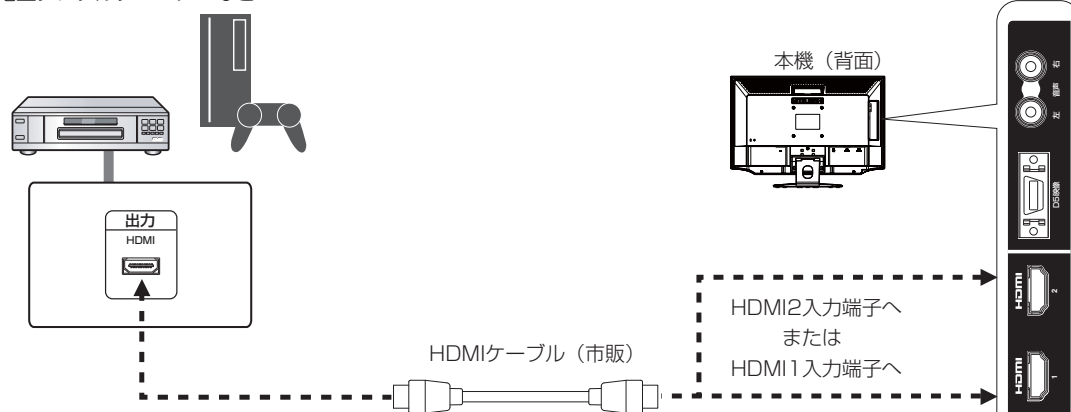
## [準備4] ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて]

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV機器などと接続して使用することができます。  
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。

### HDMI出力に対応したAV機器との接続

ゲーム機器、DVDプレーヤー、HDレコーダー  
地上デジタルチューナーなど



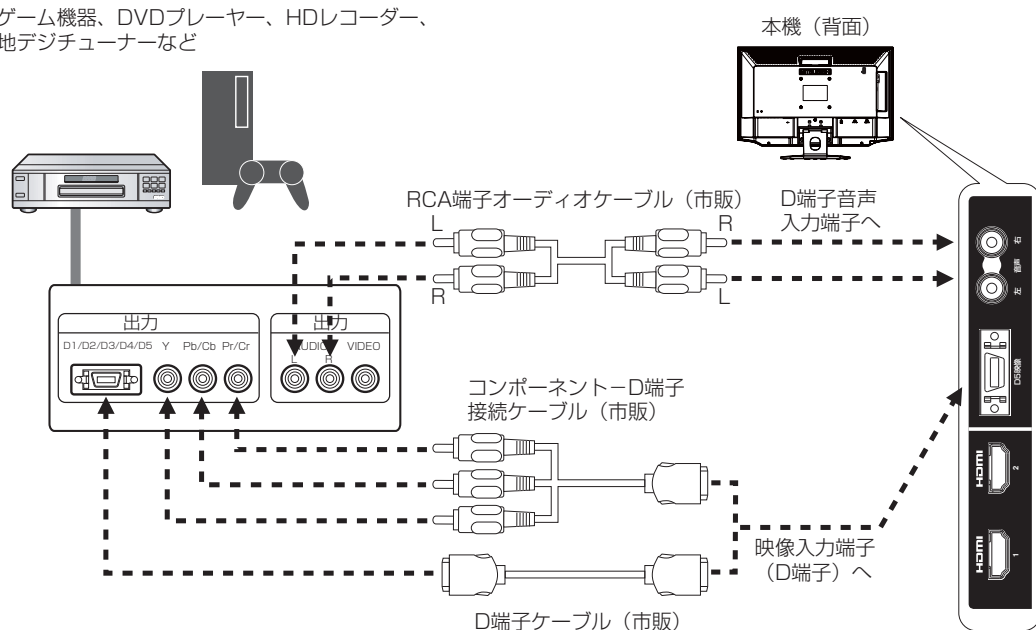
注) HDMI 入力の場合、オーディオ接続は不要です。(HDMI 信号に音声信号が含まれています。)

#### お知らせ

- HDMI - HDMI ケーブル接続で 2 台の AV 機器との接続ができます。  
すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI<sup>®</sup> ケーブルをご使用ください。
- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。  
数秒 (5~30秒) お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・ OSDの「入力自動切換」機能をオフにすると、表示されやすくなる場合があります。
  - ・ 電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・ AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。

## コンポーネント映像出力（D端子）に対応したAV機器との接続

ゲーム機器、DVDプレーヤー、HDレコーダー、  
地デジチューナーなど



### お知らせ

- D端子入力でAV機器と接続される場合、音声信号はAV機器のオーディオ出力端子と本機の音声入力端子を接続してください。
- ゲーム機やビデオムービーなど一部の機器では、音声専用コネクタまたはステレオジャック出力の場合があります。専用ケーブルが必要な場合がありますので、接続されるAV機器の取扱説明書を参照して専用ケーブルをご購入ください。
- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。数秒（5～30秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  - ・ 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  - ・ OSDの「入力自動切換」機能をオフにすると、表示されやすくなる場合があります。
  - ・ 電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。
  - ・ AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。



## [準備5] ヘッドホンを接続する

[必要に応じて]

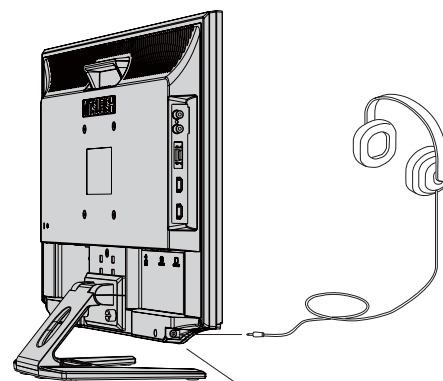
本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

### ⚠ 注意

- ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。  
音量によっては耳を傷める原因となります。
- ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようにご注意ください。  
大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。



ヘッドホン端子（側面）

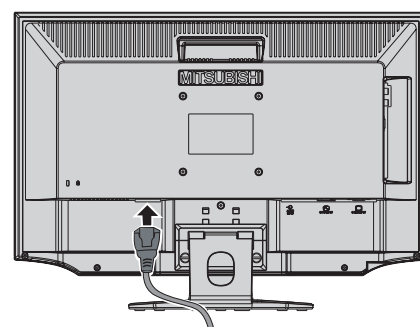
## [準備6] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに接続する

奥までしっかりと差し込んでください。

### お願い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.5 A 以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。



もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

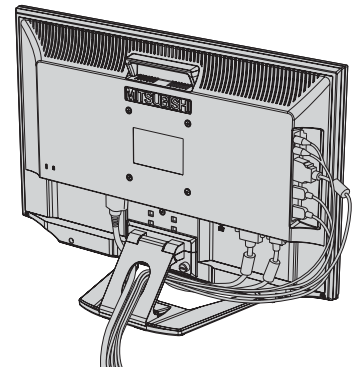
いさく

## [準備7] ケーブルをまとめる [必要に応じて]

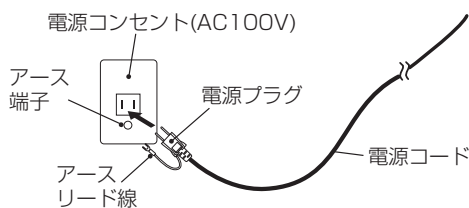
本機背面に接続した電源コード、信号ケーブル、オーディオケーブルを、スタンドのケーブルホールを使ってまとめる

### お願い

- 画面を上方に傾けた状態でケーブル類はスタンドのケーブルホールを通してまとめてください。  
設置後、画面を上向きに傾けたときに必要なケーブルの長さが確保されます。
- 本機の角度を調節し、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。



## [準備8] 電源プラグのアースリード線を接続する [準備9] 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する



### お願い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。  
This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

### ⚠ 警告

- 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。  
AC100 V以外（最大AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- 電源プラグのアースリード線は必ず電源コンセントなどのアース端子へ接続してください。  
なお、アースリード線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。  
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

#### アース端子付きコンセントが無い場合

- ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線には接続しないでください。  
感電・爆発・引火の原因になります。
- お買い上げの販売店にアース工事（D種設置工事、有料）をご相談ください。  
アース工事は「電気工事士」資格が必要です。

## [準備10] 設置する

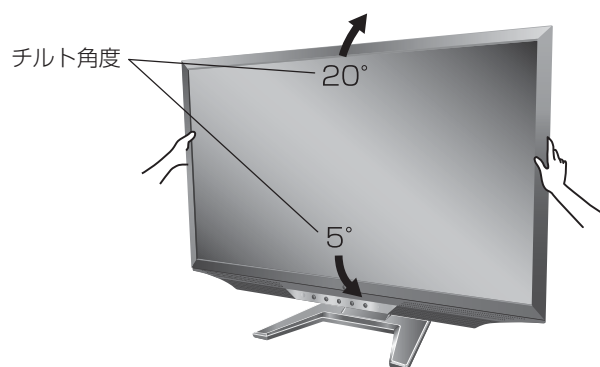
ディスプレイ画面が見やすく、傾いていない平らで安定している場所に設置します。

## [準備11] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

お好みに合わせて、本機の角度を調節してください。  
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

### ⚠ 注意

角度調節時に、手を挟まないように気をつけてください。  
けがの原因となることがあります。



液晶画面を押さないようにしてください。

もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために…

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

いさく

### 1 本機およびコンピューターの電源を入れる

### 2 画面の調節をおこなう

#### ■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

#### ■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする（D-SUB入力するとき）」→ P25 の手順にしたがって画面を調節してください。

オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「調整」メニュー（OSD機能）→ P34 をご覧ください。

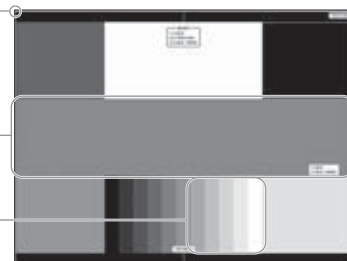
#### テストパターン

付属のユーティリティディスクには、テストパターンが入っています。  
このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。  
ご使用方法については、ユーティリティディスクのREADMEをご覧ください

「調整」メニューの「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。→ P34

「調整」メニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。→ P34

「画質」メニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。→ P31



テストパターン表示画面

#### お知らせ

テストパターンは、64bit 版 OS に対応しておりません。

<対応 OS>

Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit 版)、Windows Vista® (32bit 版)、Windows® 7(32bit 版)



## オートセットアップをする (D-SUB入力するとき)

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。その後、さらに調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。 → P31,P34

### お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」 → P29 をご覧ください。

## 1 本機およびコンピューターの電源を入れる

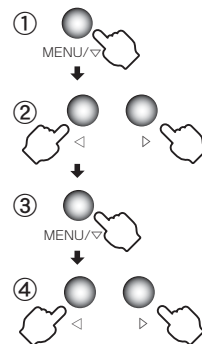
## 2 画面全体にテストパターン → P24 ワープソフトの編集画面などの白い画像を表示する

## 3 オートセットアップをおこなう

- ① 「MENU/▽」 ボタンを押してOSD画面を呼び出す。
- ② 「◀」 「▶」 ボタンで「調整」にカーソルを移動する。
- ③ 「MENU/▽」 ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動する。
- ④ 「◀」 「▶」 ボタンで「する」を選択する。
- ⑤ 「コントラスト」「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。  
「オートセットアップ実行中」の表示が消えたら調節は完了です。

### お知らせ

- オートセットアップ中は、「オートセットアップ実行中」のOSD画面が表示されます。



OSD画面-②



OSD画面-③



OSD画面-⑤

### お願い

- DOS プロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 → P34 で好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 → P34 で好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 → P34 で好みの画面に調節してください。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の名称

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

Windows® XP/7, Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download)

もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために…

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

いさく

## ECO設定の変更

- ① 「MENU/▽」ボタンを押して、OSD画面を表示する。
- ② 「◀」「▶」ボタンを押して、主項目メニューの「ECO PROF.」を選択する。
- ③ 「MENU/▽」ボタンを押して、副項目メニューの「ECO設定」を選択する。
- ④ 「◀」「▶」ボタンを押して、「オフ」「小」「中」「大」→ **P37**の中から、お好みの設定をお選びください。



### お知らせ

- OSDの操作方法は、「OSDの基本操作」→ **P29**を参照ください。

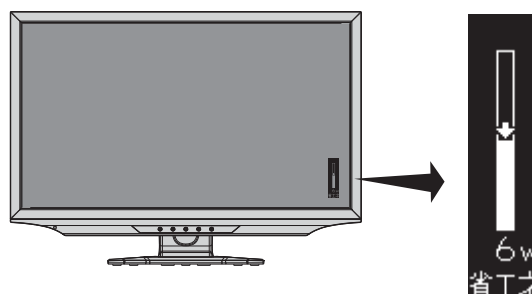
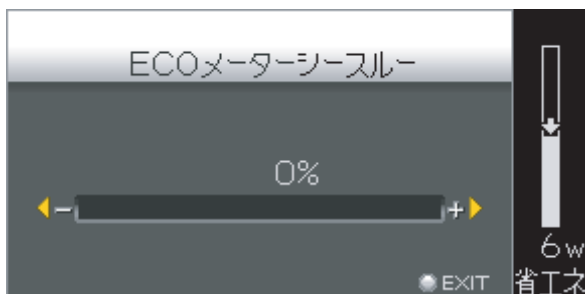
## ECOメーターの表示

- ① 「MENU/▽」ボタンを押して、「ECOメーター表示」を選択する。
  - ② 「◀」「▶」ボタンを押して、「する」をお選びください。
  - ③ 「シースルー調節」が有効になりますので、「MENU/▽」ボタンを押して選択し、「◀」「▶」ボタンを押して「する」をお選びください。
  - ④ ECOメーターシースルー調節OSD画面が表示されますので、「◀」「▶」ボタンを押して、お好みの透過率に設定してください。
- この「シースルー調節」メニューは、設定した後に自動的に「しない」に戻ります。

ECOメーターは現在の省エネ電力値をリアルタイムに表示します。

表示値：消費電力へ影響する「ブライトネス」「CRO」「ECO設定」により値が変わります。

- ⑤ 「INPUT/EXIT」ボタンを3回押し、OSD画面を消した後に、画面の右下にECOメーターが設定した透過率で表示されます。
- 「ECOメーター」を表示したくない場合は、「しない」を選択するか透過率を「0%」にすると消えます。



省エネ電力量値はゼロリセットすることができます。

「省エネ電力量リセット」を選択して、「する」に設定すると積算された「省エネ電力量」「省エネ率」「CO<sub>2</sub>削減量」がゼロに戻ります。

### お知らせ

- 上図のECOメーターは表示の（例）です。省エネ状態によってメーターのバーの高さと省エネ数値(W)は変化します。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。  
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

## OSD画面の構成

OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

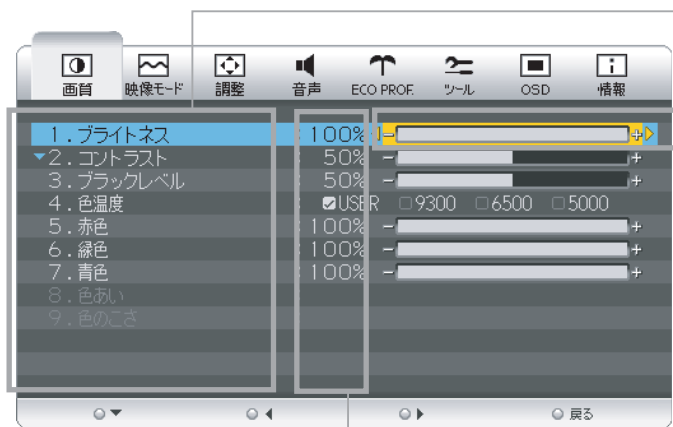
### お知らせ

- 入力端子、入力信号、DV MODEの設定などにより、調節や設定ができない項目があります。その場合は、灰色文字になります。



#### 主項目メニュー

選択されているグループアイコンは青く表示されます。  
「<」 「>」 ボタンで調節したい項目へ移動します。



#### 副項目メニュー

選択項目が青い背景で表示されます。  
「MENU/▽」 ボタンで調節したい項目へ移動します。

#### 調節バー

選択された項目の調節バーは黄色い背景に変わります。  
「<」 「>」 ボタンで調節すると、バーが伸び縮みして調節状態の割合を感覚的にお知らせします。  
両端の<>マークは、調節可能な状態であることを示します。

#### 調節割合

調節状態の割合を数値でお知らせします。



#### チェックアイコン

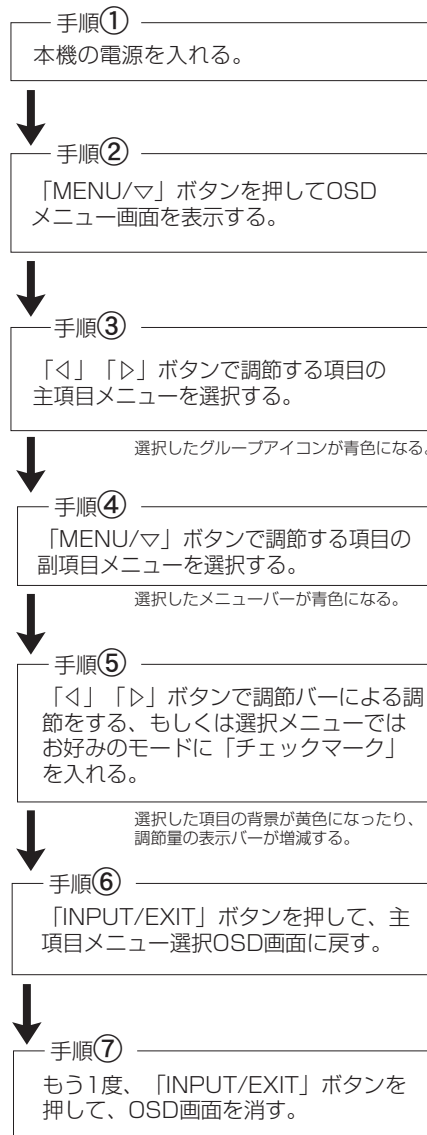
チェックが入っている調節項目が選択されています。

#### 操作ボタンの配列（キーガイド）

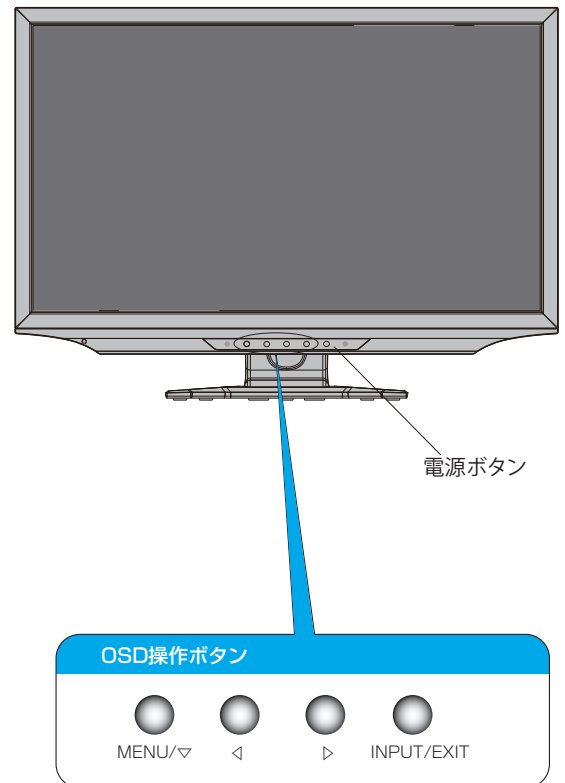
OSD画面の操作に必要な操作ボタンを表示しています。

## OSDの基本操作

OSD操作は、以下に示すような構成になっています。



OSD画面の状態



### お知らせ

- OSD画面が表示された後、操作がおこなわれない場合は、「OSD表示時間」→ P40で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

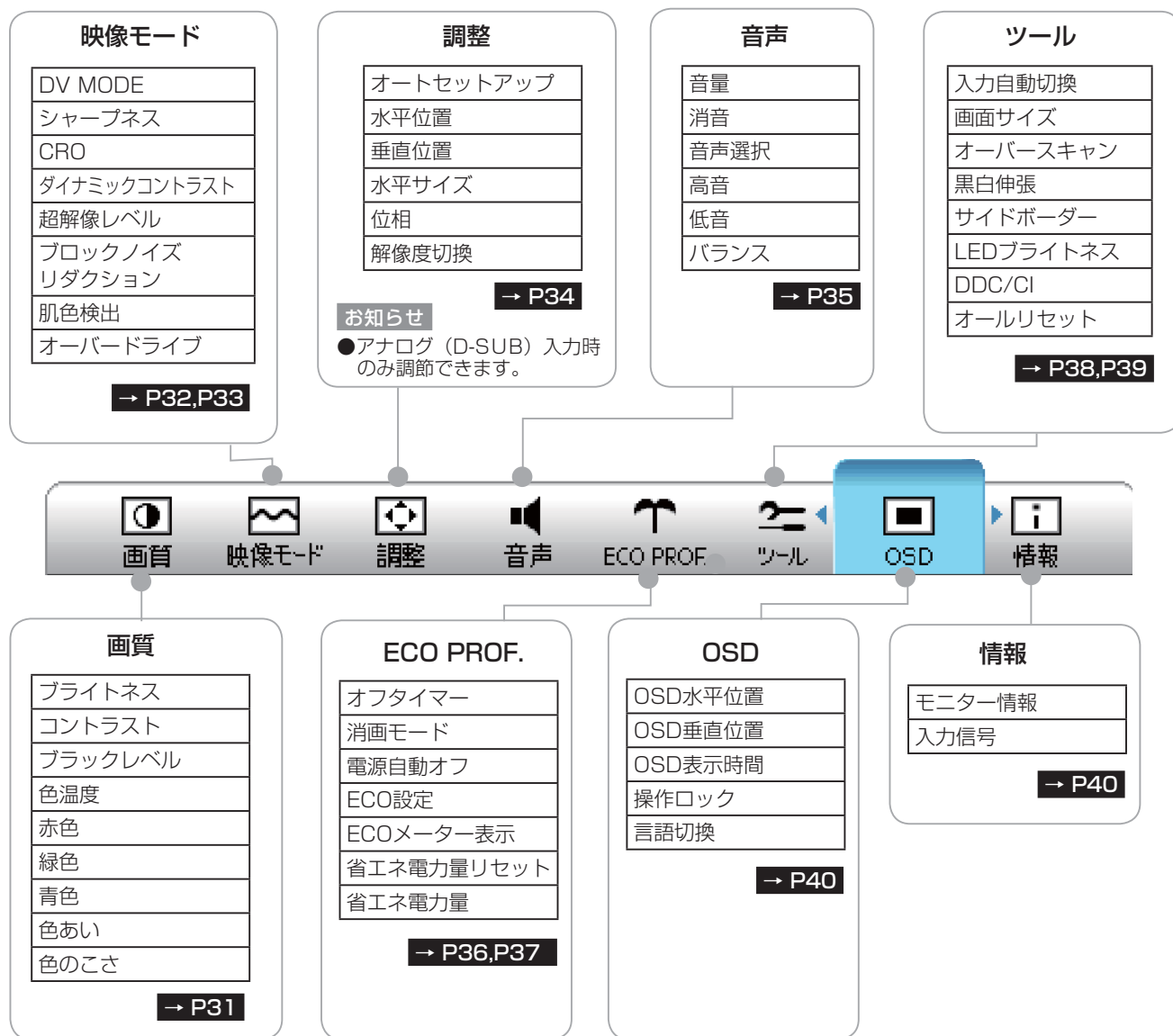
解用説語

いさく




## OSDメニュー 一覧

各グループの構成は以下になっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。  
入力端子、入力信号、DV・MODEの設定などにより、調節や設定ができない項目があります。  
その場合は、灰色文字で表示され選択できません。



## 画質

 画面の明るさ・コントラスト・ブラックレベルおよびカラー調節ができます。

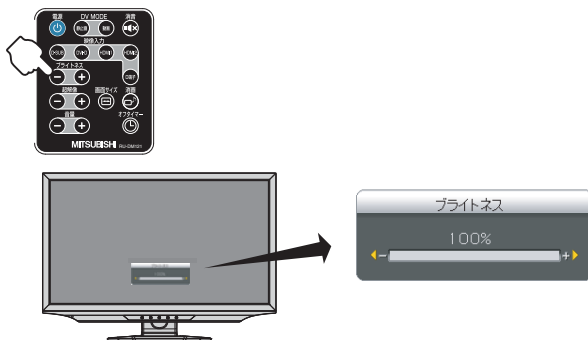


### ■ ブライツネス

画面の明るさをお好みの状態に調節してください。

【リモコン】 → P12

ブライツネス調節ボタンで調節します。  
ブライツネス調節OSD画面が表示されます。



### ■ 色のこさ

画面の色のこさをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

- DV MODEで【動画】が選択されている場合のみ、調節できます。

### ■ コントラスト

画面のコントラストをお好みの状態に調節してください。

### ■ ブラックレベル

画面の暗い部分に注目して、画面の黒レベルをお好みの状態に調節してください。

### ■ 色温度

「USER」「9300」「6500」「5000」の中から好みの色温度を選択してください。

### ■ 赤色

色温度で「USER」を選択したときに、赤色を調節できます。

### ■ 緑色

色温度で「USER」を選択したときに、緑色を調節できます。

### ■ 青色

色温度で「USER」を選択したときに、青色を調節できます。

### ■ 色あい

画面の色あいをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

- DV MODEで【動画】が選択されている場合のみ、調節できます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の名称

使用の準備

機能


困ったとき

付録

解用説語

いさく

## 映像モード

 DV MODE・シャープネス・CRO・ダイナミックコントラスト・超解像レベル・ブロックノイズリダクション・肌色検出・オーバードライブの設定や調節ができます。



## ■ DV MODE → P41

お好みの画質モードを選択できます。

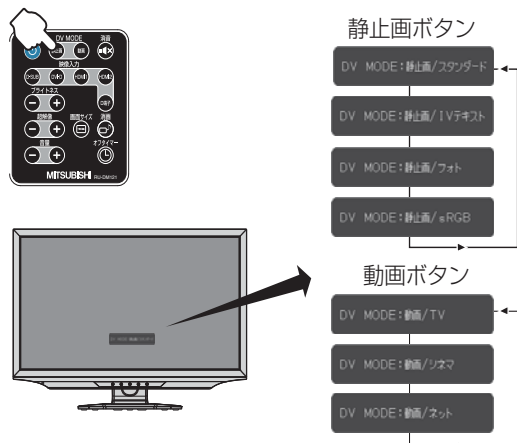
【静止画】：「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」

【動画】：「TV」「シネマ」「ネット」

## 【リモコン】→ P12

DV MODE切替ボタンで選択します。

選択されているDV MODEがOSDで表示されます。



## お知らせ

- リモコン操作でDV MODEを選択する場合、使用しない画像表示モードをスキップすることができます。→ P42
- HDMI接続時、DV MODEの工場出荷設定は【動画】「TV」になっています。
- コンピューターをHDMI接続でご使用の場合は、DV MODEを【静止画】に設定して使用することをおすすめします。

## ■ シャープネス

文字や映像のキレを調節することができます。

## ■ CRO

CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能の「しない」「する」を選択します。

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。

画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

## お知らせ

DV MODEで「スタンダード」または【動画】が選択されている場合のみ選択できます。

## ■ ダイナミックコントラスト

ダイナミックコントラスト機能の「しない」「する」を選択します。

コントラスト感を改善して鮮明な映像にします。

## お知らせ

- DV MODEで「スタンダード」または【動画】が選択されている場合のみ選択できます。

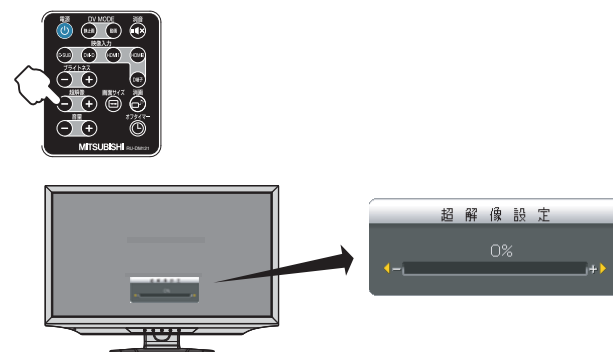
## ■ 超解像レベル

超解像レベルは、0%（オフ）～100%の範囲で、10%ステップの10レベルからお好みの状態に調節することができます。

## 【リモコン】→ P12

「+」ボタンを押すと超解像レベルが強くなります。

「-」ボタンを押すと超解像レベルが弱くなります。



## お知らせ

- 超解像技術の効果は、入力画像の種類や解像度によって異なります。コンテンツによっては、ノイズやちらつきが発生する場合があります。

## 解像度判別

入力される映像の解像度を判別し、「超解像」「ブロックノイズリダクション」「肌色検出」機能の効果を解像度に応じて適用します。

解像度レベルを0%（オフ）以外に調節すると選択できます。

「自動」：入力映像の解像度を自動で判別して、それぞれの調整範囲を「HD」/「SD」/「LD」のどれかに自動で設定します。

「HD」：高解像度の映像に適した効果を適用します。

「SD」：中解像度の映像に適した効果を適用します。

「LD」：ストリーム動画コンテンツなど、低解像度の映像に適した効果を適用します。

### ■ ブロックノイズリダクション

MPEG2方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG方式などで圧縮された静止画コンテンツを再生視聴する際に見える四角いブロックノイズを低減します。

「オフ」：切

「自動」：入力映像の解像度を自動で判別して、ブロックノイズリダクションの強度を強/中/弱のどれかに自動で設定します。

「弱」：ブロックノイズリダクションの低減効果が弱い設定です。

「中」：ブロックノイズリダクションの低減効果が中程度の設定です。

「強」：ブロックノイズリダクションの低減効果が強い設定です。

#### お知らせ

効果が強いと、コンテンツによっては全体がぼけた映像になります。

### ■ 肌色検出

肌色部分を検出し、検出部分の超解像効果を抑えることで人肌をなめらかに表現する機能です。

「する」「しない」からお選びください。

### ■ オーバードライブ

オーバードライブのレベルは「オフ」「1」「2」から、好みの画面状態になるように選択してください。

動きの速い映像でも、ぼやけ感を抑制します。

「オフ」：切

「1」：弱

「2」：強

#### お知らせ

● 映像に色飛び等が発生する場合は、「1」または「オフ」に設定してください。

● オーバードライブが「オン（「1」または「2」）の場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。その場合は、オーバードライブを「オフ」にしてください。

### 調整

- オートセットアップおよび画面の位置・水平サイズ・位相・解像度切換の設定や調節ができます。

#### お知らせ

- 「調整」メニューはアナログ (D-SUB) 信号入力時のみ操作できます。



#### ■ オートセットアップ → P25

「する」の選択でオートセットアップ機能を実行します。

#### ■ 水平位置

画面表示位置を左右方向に移動できます。

#### ■ 垂直位置

画面表示位置を上下方向に移動できます。

#### ■ 水平サイズ

画面の幅を調節できます。

画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節できます。

#### ■ 位相

画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。

#### ■ 解像度切換

入力解像度を手動で指定することができます。

「1360X768」「1280X768」「1024X768」の入力信号に対しては解像度を正しく自動判別できない場合があります。

その場合は、本機能で直接解像度を指定して表示することができます。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部の名称

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解説用説語

いさく

## 音声

- 音量・高音・低音・左右バランスの調節および消音・音声選択の設定ができます。



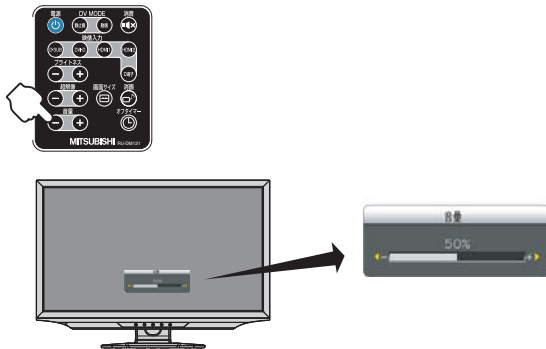
### ■ 音量

音量を調節します。

【リモコン】→P12

音量調節ボタンで調節します。

音量調節OSD画面が表示されます

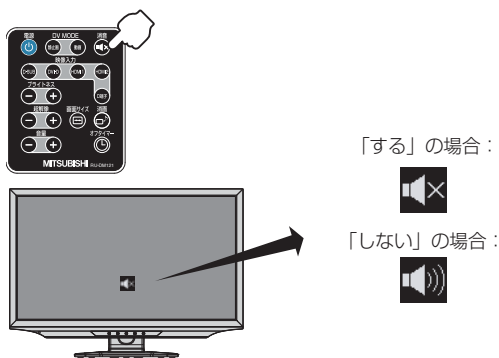


### ■ 消音

消音機能の「しない」「する」を選択します。

【リモコン】→P12

消音ボタンを押すと音は消えます。もう一度押すと解除されます。



「する」の場合：



「しない」の場合：



### お知らせ

- 音量調節、電源オフ、消音モードで消音機能は解除されます。
- 設定後、2秒間状態表示アイコンが画面に2秒間表示されます。

### ■ 音声選択

「自動」「PC」「D端子」から選択します。

「自動」：入力選択に応じて、自動的に音声入力を切り替えます。

- D-SUB、DVI-D入力時：音声入力端子（ミニジャック）が選択されます。
- HDMI入力時：HDMIオーディオが選択されます。
- D端子入力時：音声入力端子(RCA)が選択されます。

「PC」：音声入力端子（ミニジャック）が選択されます。  
(HDMI入力画面表示時に音声入力端子（ミニジャック）からの音声を、お聴きになりたい場合にご使用ください。)

「D端子」：音声入力端子（RCA）が選択されます。

### ■ 高音

高音域の音量を調節します。

### ■ 低音

低音域の音量を調節します。

### ■ バランス

スピーカー音の左右出力バランスを調節します。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく



## ECO PROF.

さまざまな省エネ設定ができます。

## お知らせ

- ECO Professional機能とは省エネに配慮した以下の機能の総称です。

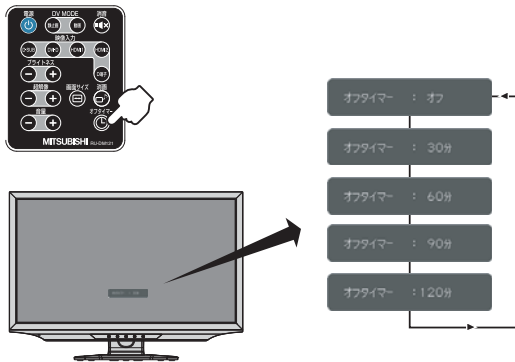


## ■ オフタイマー

「オフ」「30分」「60分」「90分」「120分」の中から選択した時間を経過後に、自動的に電源オフすることができます。

## 【リモコン】→P12

オフタイマーボタンで好みの時間を選択します。



## お知らせ

- 消画モード動作時も、設定した時間後に自動的に電源オフします。
- オフタイマーが設定されている場合、リモコンのオフタイマーボタンを押すと残り時間が画面に表示されます。

## ■ 消画モード

消画モードの「する」「しない」を設定します。お休み時など、画面を消してオーディオ機能のみをお使いになりたい場合にこの設定をおこなってください。

(画面が消えるため、節電効果があります。)

消画モード時、電源ランプが2秒点灯1秒消灯の間隔で青色点滅します。

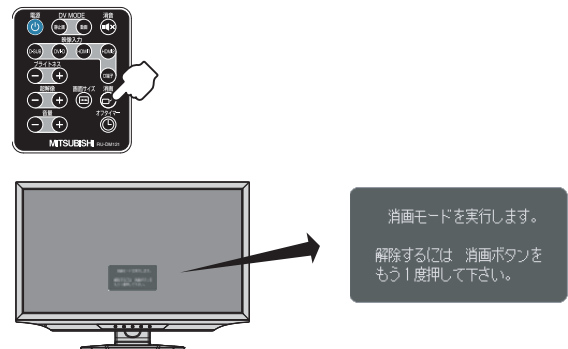
「<」「>」ボタンで音量を調節できます。

「MENU/マ」か「INPUT/EXIT」ボタンのいずれかを押すと消画モードから抜けて入力信号があれば画面が表示されます。

## 【リモコン】→P12

消画ボタンを押すと、「消画モードを実行します」のOSD画面が3秒間表示された後に画面が消えます。

もう一度、消画ボタンを押すと画面が復帰します。



## ■ 電源自動オフ

「する」を選択すると、本機のパワーマネジメント機能動作後およそ30分で電源が自動的にオフします。

## お知らせ

- 本機能動作後は、電源オフされているため再使用される場合は、電源ボタンを押して本機の電源をオンにしてください。

### ■ ECO設定

「オフ」「小」「中」「大」モードの中から、お好みの省エネモードを設定します。

「オフ」：省エネモード設定を解除します。

「小」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約5W（\*）削減します。

「中」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約13W（\*）削減します。

「大」：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約17W（\*）削減します。

#### お知らせ

- 「オン」時には、画面の明るさが低減します。
- （\*）マーク説明：画面全体の平均輝度が75%以上の状態においてECO設定「オフ」にした状態との比較値です。（当社測定結果による）

### ■ ECOメーター表示

ECOメーターを表示する時は、「する」に設定します。

#### 【シースルー調節】

ECOメーターの表示透過率を調節する場合は、「する」に設定します。

表示透過率の設定OSDが表示されますので、お好みの状態に調節してください。

#### お知らせ

- ECOメーターは、現在の省エネ電力値を画面右下にリアルタイムに表示します。
- 省エネ電力値：ECO設定の動作時や画面の明るさ（ブライトネス）を暗くした時に得られる電力削減値です。

### ■ 省エネ電力量リセット

「する」を選択するとECO PROF. OSD画面の下部に表示している省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO<sub>2</sub>削減量がゼロにリセットされます。

#### お知らせ

- 省エネ電力量と省エネ率表示値は5年以上経過すると表示色が赤色になり積算が停止する場合があります。積算の上限に達していますのでリセットしてください。
- 工場出荷時に省エネ電力量と省エネ率表示値およびCO<sub>2</sub>削減量がゼロでない場合があります。その場合は、リセットすることをおすすめします。

### ■ 省エネ電力量（表示のみ）

省エネ効果の確認用として、累積省エネ電力量と省エネ率およびCO<sub>2</sub>削減量をOSD画面上に表示します。

省エネ電力量：ご使用を始めて（またはリセットした時点）から現在までに得られた省エネ電力を積算した値とコンピューターで設定したパワーマネージメント機能にて得られた電力削減を積算した値の合算を「\*\*\*.\*\*\* kWh」で表示します。

なお、本機の電源スイッチオフの時間は含まれません。

「省エネ率」：省エネ電力量の削減効果を「\*%」で表示します。表示される値が大きいほど、省エネ電力量の削減効果が大きいことを意味します。

「CO<sub>2</sub>削減量」：省エネ電力量をCO<sub>2</sub>削減量に換算した値を「\* \* kg」で表示します。

#### お知らせ

- \* CO<sub>2</sub>削減量は、1 kWh=0.4 kg（「各国における発電部門のCO<sub>2</sub>排出原単位の推計報告書-Ver.3(2006.6Revised)-」（JEMA）より）を用いて算出。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

## ツール

- 入力自動切換・画面サイズ・オーバースキャン・黒白伸張・サイドボーダー・LEDブライトネス・DDC/CI・オールリセットの設定や調節ができます



## ■ 入力自動切換

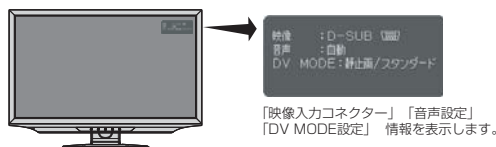
信号が入力されているコネクタを自動的に選択する機能です。

「する」「しない」を設定できます。

複数の入力信号がある場合に「INPUT/EXIT」ボタンを押さなくても、現在表示中の入力信号が切れると自動的に信号が入力している画面に切り替わります。

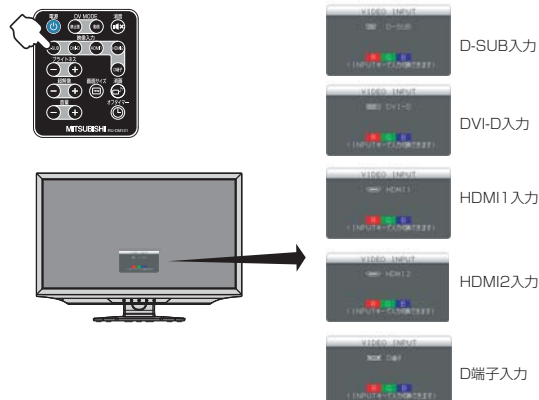
## お知らせ

- 選択されているコネクタは、「情報」のOSD画面で確認できます。
- 「しない」選択で、「INPUT/EXIT」ボタンでの手動切り替え時は、切り替え毎に画面右上に数秒表示されるサブ情報OSD画面で選択されているコネクタを確認できます。
- HDMI入力およびD端子入力は、本機能に対応していません。



## 【リモコン】→ P12

映像入力切替ボタンでダイレクトに選択できます。選択した映像入力の確認OSD画面が表示されます。



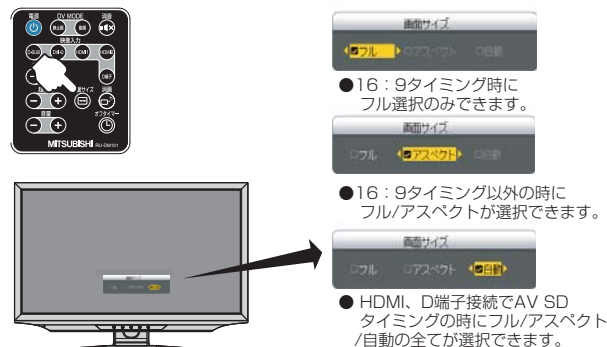
## ■ 画面サイズ → P41

自動的に画面サイズを拡大します。

「フル」「アスペクト」「自動」からお好みのモードを選択してください。

## 【リモコン】→ P12

画面サイズ切替ボタンでお好みのサイズを選択します。選択されているモードがOSDで表示されます。



## お知らせ

- 「自動」はHDMI、D端子入力でAV SDタイミングを表示している時のみ選択できます。但し、一部のAV機器においては正しく自動判別できない場合があります。その場合は、「フル」か「アスペクト」を選択してください。

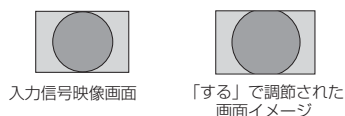
## ■ オーバースキャン

オーバースキャン機能の「する」「しない」を選択します。

AV信号を表示する場合、映像によっては画面の周囲にノイズが見えることがあります。「する」を選択することで画面の外周部をカットし、ノイズを隠すことができます。

「する」：入力された映像の外周部をカットして拡大表示します。

「しない」：入力された映像をそのまま表示します。



## お知らせ

- HDMI、D端子入力でAVタイミングを表示している場合のみ選択できます。

### ■ 黒白伸張

入力映像に対して、黒白伸張をおこないます。

「する」「しない」からお好みのモードを選択してください。

映像が黒浮きしているような場合は、「する」を選択してください。

映像の黒領域、白領域の階調がつぶれているような場合は、「しない」を選択してください。

#### お知らせ

- デジタル入力 (DVI-D、HDMI) の時、DV MODEで「スタンダード」または「動画」が選択されている場合のみ選択できます。

### ■ サイドボーダー

画面のバックグラウンドの明るさを調節します。

#### お知らせ

- 画面サイズで「アスペクト」が選択されている場合、調節できます。

### ■ LEDブライトネス

電源ランプの明るさをお好みの状態に調節します。

### ■ DDC/CI

DDC/CI通信機能の「する」「しない」を選択します。

#### お知らせ

- 「しない」を選択すると、外部からの制御ができなくなります。

### ■ オールリセット

「画質」「映像モード」「調整」「音声」「ECO PROF.」「ツール」「OSD」の各設定を工場出荷状態に戻します。

「する」を選択すると下記のOSDが画面に表示されます。  
「MENU」ボタンを押すとリセットを実行します。

オールリセットが完了すると下記のOSDが画面に表示されます。

リセットします。  
MENUを押してください。

オールリセット  
完了

#### お知らせ

- 「ECO PROF.」の省エネ電力量と省エネ率およびCO<sub>2</sub>削減量はリセットされません。  
リセットしたい場合は、「ECO PROF.」の省エネ電力量リセットメニューでおこなってください。
- 「言語切換」「消音」はリセットされません。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のきは

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

機能（つづき）

OSD

OSD画面の表示位置や表示時間の調節および表示言語の切り替えなどをおこなうことができます



- **OSD水平位置**  
OSD画面の表示位置を左右方向に移動できます。
- **OSD垂直位置**  
OSD画面の表示位置を上下方向に移動できます。
- **OSD表示時間**  
OSD画面の表示時間を10～120秒の間で設定できます。
- **操作ロック → P43**  
OSD画面の誤操作を防止するため、操作禁止の設定/解除をします。
- **言語切換**  
OSD画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。

機能（つづき）

情報

ご使用のモニター情報（モデル名とシリアルナンバー）および入力信号情報をお知らせします。

お知らせ

- 入力信号によっては、解像度や周波数を正しく表示できない場合があります。



## OSD機能の補足説明

OSD機能の補足説明をします。

## 画面サイズ → P38

「フル」「アスペクト」または「自動」を選択できます。

入力信号	画面サイズ	フル	アスペクト	自動
PCタイミング		○	○ (*1)	×
AV SDタイミング (480p)		○ (スクイーズ用)	○ (4:3用)	○ (*2)
AV HDタイミング (1080p/720p/1080i)		○	×	×

[○]: 選択可 [×]: 選択不可

「フル」 : 映像を画面全体に拡大します。

「アスペクト」: 縦横比を変えずに画面を拡大します。(画面の左右に黒帯ができます。)

「自動」 : AV SD タイミングの 4:3 とスクイーズの映像信号を自動で判断し、アスペクト (4:3) かフル (スクイーズ) で表示します。

## お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- 入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されない場合があります。
- (\*1) 印: 16:9 タイミングは、アスペクト選択できません。
- 480i の信号が入力された場合はコンテンツによってちらつきが発生する場合がありますので、AV 機器側の解像度設定を他の信号タイミング (480p、1080i、720p、1080p) に切り替えてご使用ください。
- (\*2) 印: HDMI および D 端子へ接続時のみ選択可能です。
- 「自動」の設定で、画面が正しいアスペクト比で表示されない場合は、手動で「フル」もしくは「アスペクト」を選択してください。

## DV MODE → P32

適切な画質を簡単に設定できます。

最初に映像の種類に応じて【静止画】か【動画】を選択します。

その後、メニューの中からお好みの表示モードをお選びください。

また、リモコンを使うことで、【静止画】と【動画】の画像表示モードをダイレクトに切り替えることができます。

## お知らせ

- 適切な画像表示モードにするため「ブライトネス」「色温度」「色あい」「色のこさ」「シャープネス」「CRO」「ダイナミックコントラスト」「超解像レベル」「ブロックノイズリダクション」「肌色検出」「オーバードライブ」などは入力端子および選択したモード毎に個別の値を持っています (一部共通)。入力端子および選択したモードによって値が変わったり調節/設定ができない副項目メニューがあります。

## 【静止画】

「スタンダード」: 標準の設定です。

「IV テキスト」: 全体の明るさ、コントラストを抑え目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。

「フォト」: 自然画/静止画に適した設定です。

簡単カラーマネージメント (EASYCOLOR!3) → P3 をご使用になられた場合は、このモードになります。

「sRGB」: 国際色再現規格で表示する設定です。

## 【動画】

「TV」: TV 番組を視聴するのに適した設定です。

「シネマ」: 暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。

「ネット」: インターネットのストリーミング動画に適した設定です。





## DV MODEスキップ機能 → P32

リモコン操作で画像表示モードのスキップ設定および解除をすることができます。

### 画像表示方法のスキップ設定方法

- ① 本機のOSD画面の「DV MODE」を選択します。
- ② スキップをしたい画像表示モードを選択します。
- ③ スキップをしたい画像表示モードが「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」であればリモコンの「静止画」ボタンを押し、「TV」「シネマ」「ネット」であればリモコンの「動画」ボタンを押すとOSD画面上で選択した画像表示モードにスキップマーク (  ) が表示されます。

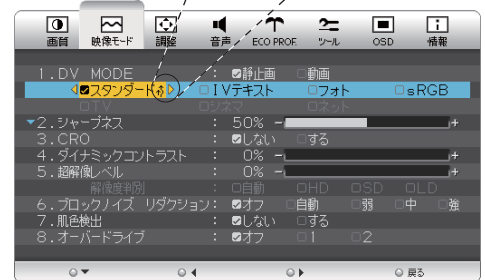
- ① 本機のOSD画面の「DV MODE」を選択する



- ② スキップをしたい画像表示モードを選択する



- ③ スキップをしたい画像表示モードがある「静止画」ボタンまたは「動画」ボタンを押してスキップ設定する



OSD画面の選択した画像表示モードにスキップマークが表示される

### 画像表示方法のスキップ解除方法

スキップマークが表示されている画像表示モードを本機の操作ボタンで選択し、解除する画像表示モードが「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」であればリモコンの「静止画」ボタン、「TV」「シネマ」「ネット」であればリモコンの「動画」ボタンを押すとスキップ指定が解除されます。また、「オールリセット」 → P39 でも解除できます。

#### お知らせ

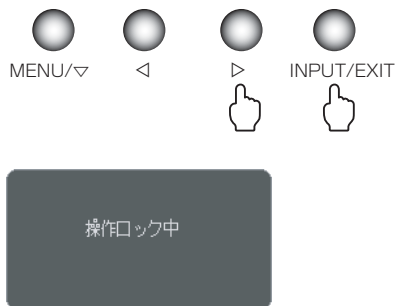
- 「静止画」「動画」の全ての画像表示モードを同時にスキップ設定することはできません。静止画の「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」および動画の「TV」「シネマ」「ネット」で、それぞれ1項目をスキップ設定なしとする必要があります。
- 「オールリセット」でスキップ解除した場合、他の設定も工場出荷時設定に戻ります。
- リモコンを紛失したり破損するとスキップ設定することができなくなります。万一紛失したり破損した時は「修理相談窓口」 → P52 へご相談ください。

### 操作ロック → P40

誤って調節してしまうことを防ぐためにOSDメニューの操作禁止を設定、解除できます。

#### 操作ロックの設定

操作ロックが選択された時に「▷」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、OSDメニュー操作はロックされ「操作ロック中」が数秒間表示されます。

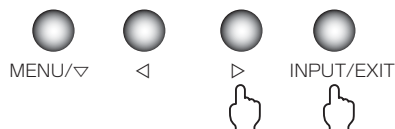


#### お知らせ

- 操作ロックはメイン OSD 操作のみがロックされます。  
「電源スイッチ」、「INPUT/EXIT」および「◀」「▶」ボタンのホットキー機能は動作します。

#### 操作ロックの解除

「MENU/▽」ボタンを押して、「操作ロック中」OSDを表示させ再び「▷」と「INPUT/EXIT」ボタンを同時に押すと、操作ロックは解除されます。



もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のきはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさく

## 工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ → P25 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Machintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Machintosh
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Machintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1360 × 768	47.7kHz	60.0Hz	
1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p (推奨タイミング)
1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

## お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ → P25 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行すると全てのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：31.5～82.3kHz、垂直周波数56～75Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- D-SUB入力、DVI-D入力はインターレース信号に対応していません。
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

## その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

### 拡大・スモーキングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

### 簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

#### お知らせ

- 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

### Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

### ノータッチオートアジャスト機能（NTAA：No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節 実行中」の文字が表示されます。



NTAA実行中画面

#### お知らせ

- アナログ入力信号（D-SUB 入力）のみ機能します。

### パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

#### お知らせ

- この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
通常動作時	49 W	点灯
スリープモード時	0.5W以下（AC100 V時）	点滅

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R、G、B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

#### お知らせ

- キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。  
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

表示されないときは…

このようなときは、チェックしてください。

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10 P12
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P11 P21
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	—
		電源コードをコンピューターの本体の電源コンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れているか確認してください。	—
		電源自動オフを設定していませんか？ その場合は、再度電源ボタンを押してください。	P36
	電源ランプが点灯している場合	「MENU/マ」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「画質」メニューの「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P31
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17 P44
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	—
		OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P52
	電源ランプが点滅している場合	消画モードを設定していませんか？	P36
		パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P45
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P17
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	—
		入力選択があっていない可能性があります。本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力切替ボタンを押して入力切替をおこなってください。	P10 P12
		本機が故障している可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P52

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
突然、画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 接続されている全てのケーブルを抜き、接続し直してください。	P17
		オフタイマー機能により電源が自動的にオフしていませんか？。再度電源を入れてください。	P36
		電源自動オフ機能により電源が自動的にオフしていませんか？再度電源スイッチをオンして設定を確認してください。	P36
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。	P52
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	線の太さなどがぼやける	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920×1080に設定してください。 または、OSD画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ(D-SUB)接続の場合は、「オートセットアップ」を実行すると軽減できる場合があります。	P32 P25
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8 P57
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P23
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	—
	画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8 P57

もくじ

ご使用の前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

解用説語

いさんく



表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示が横長に伸びている	1920×1080以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を1920×1080に設定してください。 または、OSD画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P38 P41
	AVタイミング480iの信号を入力した時に画面が「ちらつく」	480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。	－
	表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「画質」メニューの「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節するか、「ツール」の「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P31 P39
		● OSD画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17 P44
		● ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P17
		● オーバードライブを「1」または「オフ」に設定してご使用ください。。	P33
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P52
	OSD画面の表示色がおかしくなったり、線の太さが変わったりする	「色あい」「色のこさ」などを調節したり、「超解像レベル」「ダイナミックコントラスト」などの機能をオンにするとOSD画面表示状態に影響を与える場合があります。 映像処理の特性によるもので、故障ではありません。	P31 P32 P33
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください。	P17
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P29
● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「調整」の「位相」を選択し、調節してください。		P34	
● OSD画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。		P17 P44	
● 上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを60Hzに設定してください。リフレッシュレートの設定ができない場合は、D-SUBまたはDVI-D入力をご使用ください。		－	
● 超解像オンの場合、コンテンツによってはノイズやちらつきが発生する場合があります。超解像設定を変更してください。		P32	

もくじ

ご使用の前に

安全のために…

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録


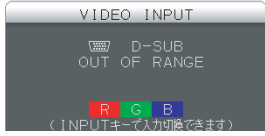
解用説語

いさく

## 表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	画面がちらつく（上記以外の場合）	● オーバードライブが「オン」（「1」または「2」）の場合、コンテンツによってはちらつく場合があります。オーバードライブを「オフ」にしてください。	P33
		● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P52
	画面が切れている（全て表示されない）	オーバースキャンを「しない」に設定してください。	P38
	画面中央を境にして左右の画面が異なる	工場調整画面になっている可能性があります。「オールリセット」をおこない工場出荷時設定に戻してください。	P39

## 案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	状 態	原因と対処	参照
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1 	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P17
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	—
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	—
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P45
	HDCP対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒程度お待ちください。	—
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2 	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。	本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P44
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	コンピューターの解像度を変更してください。	P44

※1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症 状	状 態	原因と対処	参照
解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源を一旦オフして、もう一度電源を入れ直してください。	—
	Windows®をご使用の場合は、Windows®セットアップのインストールが必要な可能性があります。	Windows®セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P26
	Windows®セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows®以外のOSをご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	—
スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	正しく接続されているか確認ください。	P19
	ヘッドホンが接続されている場合スピーカーから音は出ません。	ヘッドホンを外してください。	P21
	音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。	リモコンの音量ボタンまたはOSDメニューの「音声：■」で音量を調節、または消音メニューで「しない」を選択してください。	P12 P35
	「音声選択」で「PC」または「D端子」を選択している場合、音声入力端子側が選択されています。	HDMI接続時には「音声選択」で「自動」を選択してください。	P35
AV機器の映像が何も映らない または、画面に「NO SIGNAL」が表示された	一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。	数秒（5～30秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 一旦、電源コードを含む全てのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	—
		入力選択があっていない可能性があります。 本体の「INPUT/EXIT」ボタンまたはリモコンの映像入力切替ボタンを押して入力切替をおこなってください。	P10 P12
リモコン操作できない リモコンが効きにくい	電池が消耗していませんか？	電池（CR2025）を交換してください。	P13
	リモコンの赤外線が届かない場所で操作していませんか？	画面に近づくか、より真正面に近い角度でリモコンを操作してください。	
	リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか？	障害物を取り除いてください。	
	リモコン送信部と本機の受光部が汚れていませんか？	汚れを拭き取ってください。	
	リモコンの電池が＋－逆に入っていませんか？	電池の向きを確認してください。	
	EASYCOLOR!3が起動している場合、リモコンが効きにくいことがあります。	EASYCOLOR!3を終了してください。	—
	操作ロックを設定していませんか？	操作ロックを解除してください。	P43

## 本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については当社ホームページをご覧ください。

[www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment)

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
TEL 03-3455-6107 <a href="http://www.pc-eco.jp">www.pc-eco.jp</a>	TEL 03-3455-6106 <a href="http://www.diarcs.com">www.diarcs.com</a>
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

## ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、铭板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

## 個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

“PCリサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ“PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

### リサイクル窓口ホームページ：

[www.pc-eco.jp](http://www.pc-eco.jp)

画面の **PCリサイクルマーク申込** からお入りください。

### ご注意：

法人（事業者）のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

## リモコンのリチウム電池を廃棄するには

- 一般の方が使用済みリチウム電池を廃棄する際は、一般の不燃物ゴミとして廃棄して良いことになっています。但し、乾電池と同様に自治体によっては処理の仕方が異なる場合がありますので、その指示に従ってください
- 事業者がリチウム電池を廃棄する際は時は、事業者が契約している廃棄処理業者に依頼してください。
- なお、リチウム電池を廃棄する時は、電池容量が残っていると他の金属と接触して発熱、破裂、発火の恐れがありますので、リチウム電池の ⊕ ⊖ 端子部を図に示すようにセロハンテープなどで絶縁してください。

## 危険防止のために

リチウム電池廃棄時のお願い！



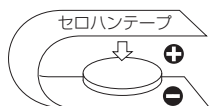
**警告**

リチウム電池の廃棄を誤ると、ショートして発熱、破裂、発火することがあり、ケガをしたり、火災に至る恐れがあります。

### 電池を廃棄する時

リチウム電池の ⊕ ⊖ 端子部を図に示すようにセロハンテープなどで絶縁してください。

(例)



## 保証とアフターサービス

- この製品には保証書を添付しています。  
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。  
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。  
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。  
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

技術相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可／IP電話不可）
フリーダイヤル ☎ 0120-71-3322	フリーダイヤル ☎ 0120-08-1460
受付時間 土・日・祝日を除く 午前9:00～12:00 午後1:00～5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：三菱ワイド液晶ディスプレイ
- 形名：RDT233WX(BK)、RDT233WX-S(BK)
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 使用状況  
（PCおよびグラフィックボード（メーカー、形名）、  
解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- 購入年月日または使用年数

- 無料出張サービス規定  
この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

## 個人情報の取り扱い

- お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  1. お問合せ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  2. 上記利用目的のために、お問合せ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
  3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
    - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
    - ② 法令等の定める規定に基づく場合。
  4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

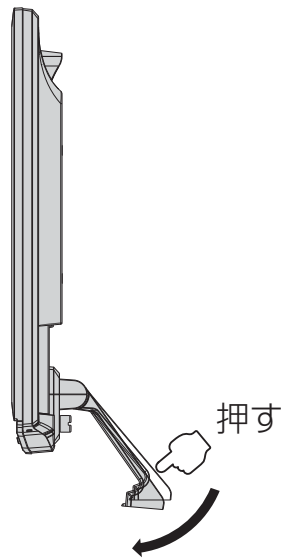
## 再梱包するとき

再梱包の際は、以下の状態にしてください。

### お願い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。

- 1 本機の画面高さを一番高い位置にスタンドを取り付けてください → P15
- 2 ベーススタンドを外してください → P16
- 3 ネックを下図の矢印の方向に止まるところまで押してください





## 市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した (100 mmピッチ) 市販のアームを取り付けることができます。

### お願い

- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。(本機のディスプレイ部の質量は約 3.9 kg です。)

### お知らせ

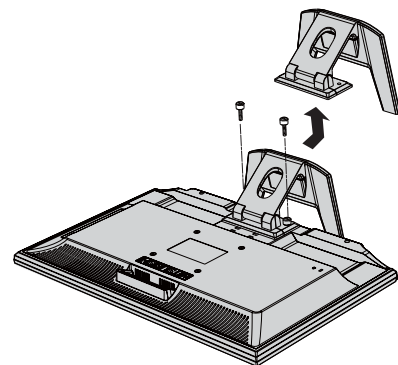
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。

### ■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

- 1 本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外してください  
その後、スタンドを固定している2本のネジを外してスタンドを取り外してください → P16

### お願い

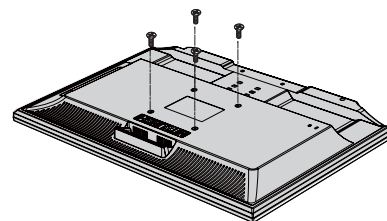
- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、液晶パネルを傷付けないように下向きに置いておこなってください。



- 2 アームを取り付ける前にVESA穴の4本の化粧用の皿ネジを取り外してください

### お願い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。その際は必ずスタンド取り付けに使用していたネジを使ってください。仕様の異なるネジを使用されると本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。



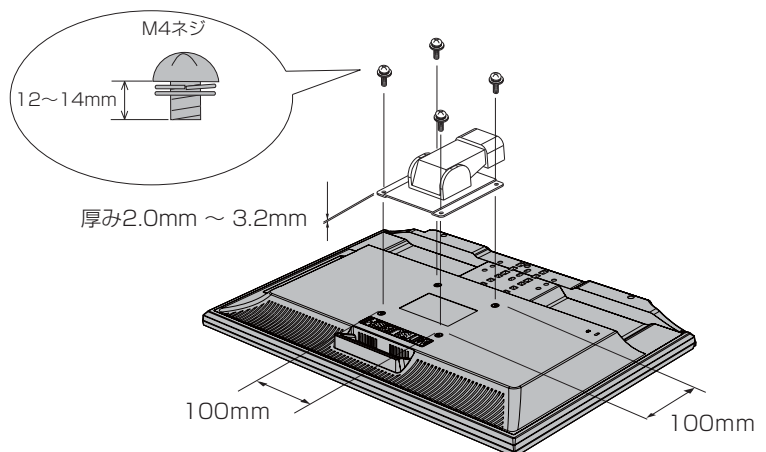
【VESA穴ネジの取り外し】

- 3 右記のようにアームを取り付けてください

取付可能アーム：

取付部厚み 2.0 mm ～ 3.2 mm  
VESA規格準拠 100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。  
(但し、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98～137 N・cmが適切な締め付トルクです。)



※ 上記アームの取付部形状は参考例です。

## 市販のアームを取り付けるとき (つづき)

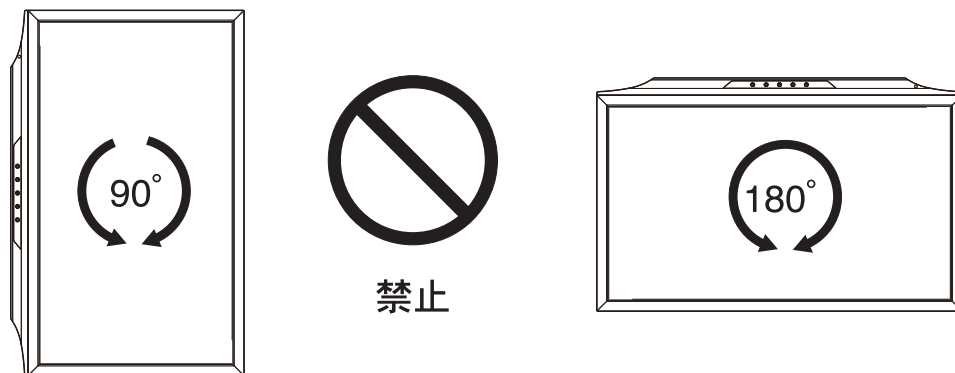
### ⚠ 注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。  
落下してけがの原因となります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。  
また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。  
万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。  
万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

### 火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。  
それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。  
緩み止めスプリングワッシャ付きM4ネジ (長さ12~14 mm)
- アームを取り付けてご使用される場合でも、90°回転や180°回転した状態でご使用しないでください。  
内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



もくじ

ご使用の  
前に

安全の  
ために

使用上の  
お願い

各部の  
はたらき

使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語

いさく

用語解説

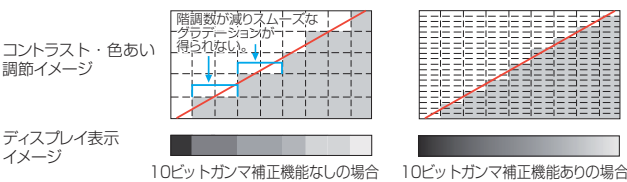
ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

10ビットガンマ機能

P3

RGB各色256階調の映像信号に、10ビットの多階調化されたルックアップテーブルを活用。

より高精度なコントラスト・色あい補正をおこなうことができます。きめ細くなめらかな階調表現が得られるとともに、色の分解能が向上し、色補正に欠かせないガンマ補正を高精度におこなうことができます。



CRオブティマイザー (CRO: Contrast Ratio Optimizer)

P32、P58、P59

映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B規格 (Display Data Channel)

P45

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DDC/CI規格 (Display Data Channel Command Interface)

P58

ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DPM (Display Power Management)

P45

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE (Dynamic Visual MODE)

P32、P41

表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能です。

下記の7つのモードから選択できます。

静止画 : 「スタンダード」「IVテキスト」「フォト」「sRGB」

動画 : 「TV」「シネマ」「ネット」

DVI-A端子 (Digital Visual Interface-Analog)

P17、P18

アナログ入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-D端子 (Digital Visual Interface-Digital)

P17、P18

デジタル入力のみに対応しているDVI端子です。

DVI-I端子 (Digital Visual Interface-Integrated)

P17、P18

デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能です。

D端子

P11、P20

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続ができる業界で統一された映像端子です。コンポーネント映像信号と映像フォーマットやアスペクト比などの識別信号を1本のケーブルで接続できます。本機にはD5映像端子が搭載されており、D1からD5までの映像フォーマットに対応しています。

分類名	映像フォーマット	走査線数	有効走査線数	走査方式
D1 (525i)	480i	525本	480本	インターレース
D2 (525p)	480p	525本	480本	プログレッシブ
D3 (1125i)	1080i	1125本	1080本	インターレース
D4 (750p)	720p	750本	720本	プログレッシブ
D5 (1125p)	1080p	1125本	1080本	プログレッシブ

GTG (Gray to Gray)

P58

表示画面を変化させた時に、画面が切り替わる早さ (追従性) を応答速度といい、数値が小さいほど、高速応答となります。白→黒→白または黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計で表す場合が一般的ですが、動画表示には中間階調での変化に要する時間が短いことが要求されてきました。これを応答速度 (GTG) と表します。

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System)

P58

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

P11、P17、P18、P19

DVDレコーダー/プレーヤーなどと接続できるAV用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を1本のケーブルで接続できます。

LEDブライトネス

P39

電源ランプの輝度を調節する機能です。

Plug&Play

P45

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格

P32、P41

IEC(International Electrotechnical Commission)により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association)

P11、P54

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

## 用語解説 (つづき)

### 位相

#### P34

アナログ映像信号のA/D変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

### インターレース

#### P56

1つの画面（フレーム）を1ラインおきに走査して表示する方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときはこの方式を使用できますが、静止画を表示するには画面のちらつきが目立ち不向きです。ほとんどのものがプログレッシブ方式を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

### オーバースキャン

#### P38

ディスプレイの表示画面において、入力有効画像の外周部を表示画面からはみ出した状態にすることです。（はみ出した部分は、画面には表示されません。）通常のテレビは、オーバースキャンの状態では調節されています。

### オーバードライブ

#### P33

輝度変化の立ち上がり時（暗→明）には高い電圧をかけ、立ち下がり時（明→暗）には電圧を低くすることで、中間階調の応答速度を改善する機能です。

### 輝度

#### P58

単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

### コントラスト比

#### P58

白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

### コンポーネント映像信号(YPbPr信号)

#### P3、P20

映像信号を輝度信号（Y）と色系統信号（赤系（Pr）/青系（Pb））に分けて送り、受け側の表示機器で画面に映すときに合成して映像にします。輝度信号と色系統信号が分けて送られるため、従来のアナログテレビ放送などで発生しやすい、不要な色付きや色のにじみなど画質の悪化を抑えることができます。

### 残像

#### P8、P47

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

### 視野角

#### P58

斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

### 水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート）

#### P44、P58

水平周波数：1秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数31.5 kHzの場合、1秒間に走査線を31,500回表示するということです。

垂直周波数（リフレッシュレート）：1秒間に画面を何回書き替えているかを表します。垂直周波数が、60 Hzの場合、1秒間に画面を60回書き替えているということです。

### ダイナミックコントラスト

#### P32

映画に多い暗がりのシーンでは細部がつぶれがちになります。それを防ぐために、黒階調をバランスよく自動調節で強調し、階調再現性を向上させる技術です。

### 超解像

#### P3、P32

独自の画像処理アルゴリズムに基づき表示映像に含まれるぼやけ成分を推定し補正を加えることにより、従来のシャープネス回路では再現できなかったフォーカス感やディテール感を再現します。

### チルト角度

#### P23、P58

ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

### ノータッチオートアジャスト

#### NTAA(No Touch Auto Adjust)

#### P45

コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

### パワーマネージメント機能

#### P45

コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

### 表示画素数／解像度

#### P58

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

### プログレッシブ

#### P56

1つの画面（フレーム）を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査し全画素を表示していく方式で、順次走査方式とも呼ばれています。きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも呼ばれます。

### ブロックノイズリダクション

#### P33

MPEG2方式などで圧縮された動画コンテンツや、JPEG方式などで圧縮された静止画コンテンツを再正視聴する際に現れる四角いブロックノイズを低減します。

もくじ

ご使用の前に

安全のために

使用上のお願い

各部のき

使用の準備

機能

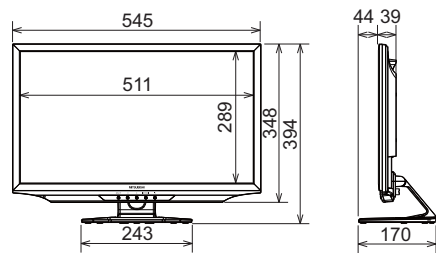
困ったとき

付録

解用説語

いさく

仕様

形名			RDT233WX(BK)	RDT233WX-S(BK)
外形寸法 (mm)				
液晶パネル	サイズ (表示サイズ)		23型 (58.4 cm)	
	液晶方式		IPS、ノングレア (反射防止)	IPS、グレア (光沢)
	有効表示領域		509.2×286.4 mm	
	表示画素数		1920×1080	
	画素ピッチ		0.265 mm	
	表示色		約1677万色 (約10億6433万色中)	
	視野角		左右 178°、上下 178° (コントラスト比10)	
	輝度 (標準値)		250 cd/m <sup>2</sup>	
	コントラスト比		8000 : 1 (CRO非動作時 1000 : 1)	
	応答速度		3.8 ms(GTG) * 1	
	バックライト		白色LED	
PC入力	水平周波数		31.5～82.3 kHz	
	垂直周波数		56～75 Hz	
	ビデオ信号		デジタルRGB、アナログRGB	
	同期信号		デジタル入力 : TMDS、アナログ入力 : セパレート同期信号 (TTL)	
	信号入力コネクター		デジタル入力 : DVI-D (HDCP対応*2)、HDMI (2系統) アナログ入力 : ミニD-SUB15ピン	
ビデオ入力	解像度		480i、480p、1080i、720p、1080p *3	
	信号入力コネクター (HDMIはPC入力コネクターと共用)		D5端子 HDMI (2系統) : デジタルRGB、デジタルYPbPr対応	
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック、RCAピンジャック (L/R)	
	スピーカー		2W+2W (ステレオ)	
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック	
適合規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV	
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン	
	エルゴノミクス		ISO13406-2 (準拠)	
	プラグ&プレイ		VESA DDC2B	
	その他		PCグリーンラベル (★★☆ 2011年度版)、J-Mossグリーンマーク、DDC/CI、Windows <sup>®</sup> 7	
使用環境条件	温度		5～35 ℃	
	湿度		30～80% (結露の無いこと)	
電源	電源入力		AC 100 - 240 V、50/60 Hz	
	消費電力	標準	49 W	
		省エネモード	スリープモード時 : 0.5 W以下、オフモード時 : 0.5 W以下 (AC100 V時)	
	電源入力コネクター		3P IECタイプ	
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 4.4 kg	
		スタンドなし	約 3.9 kg	
キャビネット色			ブラック	
梱包状態 (質量/寸法)			約 6.3 kg/600(W)×520 (H)×150 (D) mm	
チルト角度/スイベル角度/高さ調節/縦型表示			上20°、下5°/機能なし/取付位置変更式3段 (15mm/段) /機能なし	

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、解像度1920×1080以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内100V商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満足しております。
- \* 1 特定階調レベル間 (例 : 31,63,95,127,159,191,223) の各応答速度の平均値です。
- \* 2 MacintoshでのHDCP対応は非サポートです。
- \* 3 480iの信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング(480p、1080i、720p、1080p)に切り替えてご使用ください。



## さくいん

## 英数字

CRO(コトラスト/シオアプティマイザー).....	32
DDC 2B規格.....	45,56
DDC/CI.....	39
DDC/CI 規格.....	56
DPM.....	45,56
DVI-D端子.....	11,18,19,56
DVI-I 端子.....	18,19,56
DVI-D-DVI-Dケーブル.....	4,18,19
DV MODE.....	32,41,56
D5端子、D端子.....	11,56
ECO PROF.....	36
ECO設定.....	27,36
ECOメーターシースルー.....	27,36
ECOメーター表示.....	27,36
GTG.....	56
HDMI.....	4,11,56
HDCP.....	56
INPUT/EXITボタン.....	10,29
LEDブライトネス.....	39,56
Macintosh.....	4,19,44
MENU/▽ボタン.....	10,25,26,29
NTAA (No Touch Auto Adjust).....	45,57
NO SIGNAL.....	49
OSD画面の構成.....	28
OSDの基本操作.....	29
OSDのメニュー 一覧.....	30
OSD表示時間.....	40
OSD水平位置.....	40
OSD垂直位置.....	40
OUT OF RANGE.....	49
Plug & Play.....	45,56
VESA 規格.....	45,56
Windows® セットアップ情報.....	14,27
◀、▶ボタン.....	10,27,28,29,44

## あ

アースリード線.....	5,23
アフターサービス.....	52
安全のために必ずお守りください.....	5,6,7
インターレース.....	56
青色.....	31
赤色.....	31
位相.....	34,57
色あい.....	31
色温度.....	31
色のこさ.....	31
映像モード.....	32
オーバースキャン.....	3,38,57
オーバードライブ.....	33
オーディオケーブル.....	4,20
オートセットアップをする.....	25
オートセットアップ.....	34
オールリセット.....	38
応答速度.....	58
オフタイマー.....	12,36
音声.....	35
音声選択.....	35
音量.....	35

## か

外形寸法.....	58
回収.....	51
解像度.....	33,44,57
解像度切換.....	34
解像度判別.....	33
画質.....	31
画面サイズ.....	12,38,41
画面に何も映らない.....	46
画素ピッチ.....	58
拡大・スモーキングファイン機能.....	45
角度を調節する.....	24

各部のはたらき.....	10,11,12,13
簡易表示機能.....	45
ガンマ.....	3,57
輝度.....	58
黒白伸張.....	39
言語切換.....	40
高音.....	35
工場プリセットタイミング.....	44
黒点/輝点.....	47
故障かな?と思ったら.....	46,47,48,49
個人情報の取り扱い.....	52
困ったとき.....	46~52
コントラスト.....	31
コントラスト比.....	58,58
コネクターとケーブルの対応表.....	19

## さ

再梱包するとき.....	53
サイドボーダー.....	39
残像.....	8,47,57
質量.....	58
シースルー調節.....	27
シネマ.....	12,33,56
市販のアームの取り付けるとき.....	55
視野角.....	57,58
シャープネス.....	32
仕様.....	58
省エネ電力量リセット.....	37
消音.....	35
消画モード.....	36
修理相談窓口.....	52
使用環境条件.....	58
使用上のお願い.....	8,9
消費電力.....	45,58
信号ケーブル.....	4
信号ケーブルを接続する.....	18,19,20,21
信号入力コネクター.....	58
推奨信号タイミング.....	44
垂直位置.....	34
垂直周波数.....	44,57,58
水平位置.....	34
水平サイズ.....	34
水平周波数.....	44,57,58
スタンド.....	15,53,54
スピーカーから音が出ない.....	48
スリープモード.....	45,58
接続.....	18,19,20,21
設置する.....	24
セットアップガイド.....	4
操作ボタン.....	10
操作ロック.....	43

## た

ダイナミックコントラスト.....	32
超解像.....	32,33,57
ちらつく.....	47,48,49
調整.....	34
チルト角度.....	23,57,58
ツール.....	39
低音.....	35
適合規格等.....	58
テストパターン.....	24
電源コード.....	4,22,23
電源自動オフ.....	31,37
電源スイッチ.....	10,12
電源ランプ.....	10,45
電源電圧.....	6,23,58
電源入力コネクター.....	11,22,58
電源プラグ.....	23
電源容量.....	22
電源を入れる.....	30

電源コンセントに接続する.....	23
盗難防止用ロック穴.....	11
同期信号.....	58

## な

入力信号.....	40
ネット.....	12,32,41,56
ノートタッチオートアジャスト機能.....	45,57

## は

廃棄する.....	51
肌色検出.....	33
バランス.....	35
パワーマネージメント機能.....	45,57
表示色.....	48,58
表示画素数.....	58
表示状態がおかしい.....	47,48,49
表示しなくなった.....	47
ビデオ信号.....	58
付属品.....	4
ブライトネス.....	31
ブラックレベル.....	31
プログレッシブ.....	57
ブロックノイズリダクション.....	33
ベーススタンド.....	4,15,53
ヘッドホン端子.....	10,22
ヘッドホンを接続する.....	22
本体正面.....	10
本体背面/側面.....	11
変換アダプター.....	18,19
保証とアフターサービス.....	52
保証書.....	4,52

## ま

ミニD-SUB15ピン.....	4,11,18,20,58
モニター情報.....	40

## や

ユーザーメモリー機能.....	44
有効表示領域.....	58
用語解説.....	56,57

## ら

リサイクル.....	51
リフレッシュレート.....	44,58,58
ロックの設定.....	43
ロックの解除.....	43

もくじ

ご使用の  
前に安全の  
ために使用上の  
お願い各部分の  
はたらき使用の  
準備

機能

困った  
とき

付録

解用  
説語いさ  
んく



本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

AW-P0900A